

第二十四回 帝國議會 貴族院議事速記錄第十四號

日本大博覽會ノ出品ニ對スル發明、意匠、實用新案及商標保護ニ關スル法律案

明治四十一年三月十三日(金曜日)

午前十時九分開議

議事日程 第十四號 明治四十一年三月十三日

午前十時開議

第一 男爵尾崎三良君請暇ノ件

第二 水利組合法案(政府提出衆議院送付)

第三 右議案ノ審査ヲ付託スヘキ特別委員ノ選舉

第四 關稅定率法輸入稅表中改正法律案(政府提出衆議院送付)

第五 右議案ノ審査ヲ付託スヘキ特別委員ノ選舉

第六 陸軍刑法案(政府提出)

第七 海軍刑法案(政府提出)

第八 裁判所管轄區域變更ニ關スル法律案(衆議院提出
衆第六號)

第九 裁判所管轄區域變更ニ關スル法律案(衆議院提出
衆第六號)

第一讀會ノ續(委員長報告)

第一讀會ノ續(委員長報告)

第一讀會

海軍刑法案修正報告書

裁判所管轄區域變更ニ關スル法律案(衆第五號)可決報告書

裁判所管轄區域變更ニ關スル法律案(衆第六號)可決報告書

同日衆議院ヨリ左ノ政府提出案ヲ受領セリ

水軍刑法案

關稅定率法輸入稅表中改正法律案

同日衆議院ヨリ政府提出裁判所構成法中改正法律案ハ本院ノ議決ニ同意シ

奏上シタル旨ノ通牒ヲ受領セリ

同日衆議院ヨリ左ノ政府提出案ハ同院ニ於テ之ヲ否決シタル旨ノ通牒ヲ受

領セリ

○議長(公爵德川家達君) 是ヨリ諸般ノ報告ヲ致シマス
〔東久世書記官朗讀〕

從三位勳四等 男爵安藤直行君

本月六日薨去セラル依テ去ル十日弔辭ヲ贈レリ

去ル十日本院ニ於テ議決シタル左ノ政府提出案ハ即日裁可ヲ奏請シ又可決ノ旨ヲ衆議院ニ通知セリ

沖繩縣及東京府小笠原島伊豆七島ニ於ケル酒造稅ニ關スル法律案

沖繩縣酒類出港稅則中改正法律案

酒母、醪及麴取締法中改正法律案

煉乳原料砂糖戻稅法案

同日本院ニ於テ採擇ヲ議決シタル左ノ各請願ハ意見書ヲ付シ即日之ヲ政府ニ送付セリ

日露戰爭ニ因ル個人損害救濟ノ請願

清榮丸擊沈ニ關スル救濟ノ請願

區裁判所出張所増設及位置變更ノ請願

廢兵ニ對スル待遇ノ請願

宮津福知山間鐵道急設ノ請願

同日委員長ヨリ左ノ報告書ヲ提出セリ

陸軍刑法案修正報告書

海軍刑法案修正報告書

裁判所管轄區域變更ニ關スル法律案(衆第五號)可決報告書

裁判所管轄區域變更ニ關スル法律案(衆第六號)可決報告書

同日衆議院ヨリ左ノ政府提出案ヲ受領セリ

水軍刑法案

關稅定率法輸入稅表中改正法律案

同日衆議院ヨリ政府提出裁判所構成法中改正法律案ハ本院ノ議決ニ同意シ

奏上シタル旨ノ通牒ヲ受領セリ

同日衆議院ヨリ左ノ政府提出案ハ同院ニ於テ之ヲ否決シタル旨ノ通牒ヲ受

領セリ

災害地地租特別處分法案

所得稅法中改正法律案

營業稅法中改正法律案

織物消費稅法案

賣藥稅法中改正法律案

砂金採取地稅法案

鑛業法中改正法律案

登錄稅法中改正法律案

取引所稅法中改正法律案

通行稅法案

相續稅法中改正法律案

狩獵法中改正法律案

印紙稅法中改正法律案

民事訴訟用印紙法中改正法律案

商事非訟事件印紙法中改正法律案

行政訴訟書類印紙貼用廢止ニ關スル法律案

沖繩縣ニ於ケル舊租免除ニ關スル法律案

一昨十一日委員長ヨリ左ノ報告書及決議案ヲ提出セリ

請願委員會特別報告第五號

明治三十八年度歲入歲出總決算、明治三十八年度各特別會計歲入歲出決算報告並決議案(二件)

昨十二日政府ヨリ樺太廳立小學校教員退隱料及遺族扶助料ニ關スル法律案ヲ受領セリ

同日委員長ヨリ左ノ報告書ヲ提出セリ

陸軍刑法施行法案修正報告書

海軍刑法施行法案修正報告書

同日衆議院ヨリ左ノ政府提案ハ本院ノ議決ニ同意シ奏上シタル旨ノ通牒ヲ受領セリ

監獄法案
裁判所構成法中改正法律案
裁判所構成法施行條例中改正法律案
神社財產ニ關スル法律案

同日衆議院ヨリ本院ノ送付ニ係ル政府提出刑法施行法案ノ回付ヲ受ケタリ

同日衆議院ヨリ政府提出鹽專賣法中改正法律案ヲ受領セリ

同日衆議院ヨリ同院提出家祿賞典祿處分ニ關スル法律案ヲ受領セリ
同日內閣總理大臣ヨリ左ノ通牒ヲ受領セリ

遞信書記官 湯河元臣

右之通り本日任命相成候間此段及通牒候也

明治四十一年三月十二日

貴族院議長公爵德川家達殿 内閣總理大臣侯爵 西園寺公望

○議長(公爵德川家達君) 是ヨリ本日ノ會議ヲ開キマス
〔侯爵大炊御門幾麿君發言ノ許可ヲ求ム〕

○議長(公爵德川家達君) 大炊御門侯爵ハ何デスカ

○侯爵大炊御門幾麿君 唯今ヨリ北海道未開地處分法改正法律案ノ委員會ヲ開キタウゴザイマスカラ、退席ノ許可ヲ得タウゴザイマス

○議長(公爵德川家達君) 大炊御門侯爵ノ特別委員會へ退席ノ要求ハ許可イタシテ御異存ゴザイマセヌカ

○議長(公爵德川家達君) 男爵尾崎三良君請暇ノ件、病氣ニ付キ本日ヨリ二十六日マデデゴザイマス、許可イタシテ御異存ゴザイマセヌカ

○議長(公爵德川家達君) 「異議ナシ」ト呼フ者アリ

○議長(公爵德川家達君) 御異議ナイト認メマス

○議長(公爵德川家達君) 御異議ナイト認メマス

○議長(公爵德川家達君) 議事日程第一、男爵尾崎三良君請暇ノ件、病氣ニ付キ本日ヨリ二十六日マデデゴザイマス、許可イタシテ御異存ゴザイマセヌカ

○議長(公爵德川家達君) 「異議ナシ」ト呼フ者アリ

○議長(公爵德川家達君) 御異議ナイト認メマス

○議長(公爵德川家達君) 議事日程第二、水利組合法案、政府提出、衆議院送付、第一讀會、通牒文、議案ノ朗讀ハ省略シテ御異存ゴザイマセヌカ

○議長(公爵德川家達君) 議事日程第二、水利組合法案、政府提出、衆議院送付、第一讀會、通牒文、議案ノ朗讀ハ省略シテ御異存ゴザイマセヌカ
〔異議ナシト呼フ者アリ〕

○議長(公爵德川家達君) 御異議ナイト認メマス

○議長(公爵德川家達君) 「左ノ通牒文及議案ハ朗讀ヲ經サルモ參照ノタメ茲ニ載錄ス以下之ニ徴フ」

水利組合法案

右政府提出案本院ニ於テ修正議決セリ因テ議院法第五十四條ニ依リ及送付候也

明治四十一年三月十日

貴族院議長公爵德川家達殿 衆議院副議長 箕浦勝人

〔小字ハ衆議院ノ修正、——ハ同削除ノ符號〕

水利組合法

第一章 總則

第一條 水利土功ニ關スル事業ニシテ特別ノ事情ニ依リ府縣其ノ他ノ地方公共團體ノ事業ト爲スコトヲ得サルモノアル場合ニ於テハ水利組合ヲ設置スルコトヲ得

第二條 水利組合ハ法人トス

第三條 水利組合ハ組合規約ヲ設ケ組合ニ關スル重要ノ事項ヲ規定スヘシ

組合規約ハ之ヲ告示スヘシ其ノ改正アリタルトキ亦同シ

第四條 水利組合ハ分チテ左ノ二種トス

一 普通水利組合

二 水害豫防組合

第五條 普通水利組合ハ灌漑排水ニ關スル事業ノ爲設置スルモノトス

第六條 普道水利組合ハ組合事業ノ爲利益ヲ受クル土地ヲ以テ區域トシ其ノ區域内ニ於テ土地ヲ所有スル者ヲ以テ組合員トス但シ舊慣アルモノハ其ノ舊慣ニ依リ區域ヲ畫スルコトヲ得

第七條 水害豫防組合ハ水害防禦ニ關スル事業ノ爲設置スルモノトス

第八條 水害豫防組合ハ水害ヲ受クヘキ土地ヲ以テ區域トシ其ノ區域内ニ於テ土地、家屋及組合規約ニ指定スル工作物ヲ所有スル者ヲ以テ組合員トス但シ舊慣アルモノハ其ノ舊慣ニ依リ區域ヲ畫スルコトヲ得

第九條 水害豫防組合ニ於テ其ノ區域全部ニ涉リ灌漑排水ニ關スル事業ノ必要アルトキハ組合會ノ議決ニ依リ府縣知事ノ許可ヲ得テ其ノ事業ヲ兼營スルコトヲ得

前項ノ場合ニ於テ灌漑排水ノ事業ニ關スル部分ニ付テハ普通水利組合ノ規定ヲ準用ス

第二章 組合ノ設置及廢止

第十條 水利組合ヲ設置セムトスルトキハ府縣知事ニ於テ組合區域ヲ指定シ關係地ノ郡長市町村長ノ内一人又ハ數人ニ創立委員ヲ命スヘシ但シ普通水利組合ノ設置ニ付テハ組合員タルヘキ者五人以上ノ申請又ハ組合事業ニ關係アル郡長又ハ市町村長ノ具申アル場合ニ限ル

第十一條 創立委員ハ組合規約案ヲ調製シ關係者ノ總會議ニ付スヘシ關係

者百人以上アルトキハ府縣知事ノ許可ヲ得テ便宜總代人ヲ選ハシメ其ノ集會ヲ以テ總會議ニ充ツルコトヲ得

總會議又ハ總代人會ノ議長ハ創立委員ヲ以テ之ニ充ツ創立委員數人アルトキハ府縣知事其ノ中一人ヲ指定ス

總會議又ハ總代人會ハ關係者又ハ總代人ノ三分ノ二以上出席スルニ非ナレハ會議ヲ開クコトヲ得ス但シ特別ノ事情アルトキハ創立委員ハ府縣知事ノ定ム所ニ依リ關係者又ハ總代人ノ代人ヲ許スコトヲ得

總會議又ハ總代人會ノ議事ハ過半數ヲ以テ之ヲ決ス可否同數ナルトキハ議長ノ決スル所ニ依ル

總會議費又ハ總代人會費其ノ他創立ニ關スル費用ハ組合設置ノ後組合費ヨリ之ヲ支辨スヘシ

第十二條 創立委員ハ組合規約ノ議決ヲ經タルトキ府縣知事ニ其ノ許可ヲ請フヘシ

第十三條 普通水利組合關係者ノ總會議又ハ總代人會ニ於テ議決シタル組合規約又ハ其ノ議決ノ方法法令ニ背キ又ハ公益ニ害アリト認ムルトキハ府縣知事ハ理由ヲ示シテ之ヲ再議ニ付シ仍其ノ議決ヲ改メサルトキハ内務大臣ノ指揮ヲ請フヘシ

水害豫防組合關係者ノ總會議若ハ總代人會成立ヒス又ハ其ノ議決スヘキ事件ヲ議決セス又ハ議決スルモ其ノ議決公益ニ害アリト認ムルトキハ府縣知事ニ於テ其ノ議決スヘキ事件ヲ處分スルコトヲ得

第十四條 水利組合ハ組合規約ノ許可又ハ前條第二項ニ依ル組合規約ノ設定ニ依リ成立ス

前項ノ場合ニ於テハ府縣知事ハ組合設置ノ旨ヲ告示スヘシ

第十五條 水利組合ノ廢置分合又ハ區域ノ變更ハ普通水利組合ニ在リテハ組合會ノ議決又ハ協議ニ依リ府縣知事之ヲ行フ

前項ノ場合ニ於テハ組合會ノ意見ヲ徵シ府縣知事之ヲ行フ組合會ノ議決又ハ協議ニ依リ府縣知事ノ許可ヲ得テ之ヲ行ヒ水害豫防組合ニ於テ協議調ハサルトキハ府縣知事之ヲ定ム

普通水利組合ハ民法上ノ義務ヲ完了スルニ非サレハ之ヲ廢止スルコトヲ得ス

土地アルトキハ管理者ハ其ノ土地ノ關係者ノ同意又ハ關係者ノ總會議若ハ總代人會ノ同意ヲ得ルヲ要ス

前項總會議又ハ總代人會ニ關シテハ第十一條ノ規定ヲ準用ス但シ創立委員ノ職務ハ管理者之ヲ行フ

第十六條 水利組合ノ廢置分合又ハ區域ノ變更アリタルトキハ府縣知事ハ之ヲ告示スヘシ

第三章 組合ノ會議

第十七條 水利組合ニ組合會ヲ置ク

第十八條 組合會議員ハ其ノ被選舉權アル者ニ就キ選舉人之ヲ選舉ス

組合會議員選舉人被選舉人ノ資格議員ノ定數任期及選舉ニ關スル事項ハ組合規約ヲ以テ之ヲ定ムヘシ

組合會議員ノ選舉ヲ終リタルトキハ管理者ハ直ニ選舉錄ノ謄本ヲ添へ之ヲ第一次監督官廳ニ報告スヘシ

當選者定リタルトキハ管理者ハ直ニ其ノ住所氏名ヲ告示シ併セテ之ヲ第一次監督官廳ニ報告スヘシ

組合會議員ノ選舉ニ付テハ衆議院議員選舉ニ關スル罰則ヲ準用ス

第十九條 選舉ノ規定ニ違反スルコトアルトキハ選舉ノ結果ニ異動ヲ生スルノ虞アル場合ニ限り其ノ選舉ノ全部又ハ一部ヲ無效トス

當選者ニシテ被選舉權ヲ有セサルトキハ其ノ當選ヲ無效トス

第二十條 選舉人選舉又ハ當選ノ效力ニ關シ異議アルトキハ選舉ニ關シテハ選舉ノ日ヨリ當選ニ關シテハ告示ノ日ヨリ七日以内ニ之ヲ管理者ニ申立ツルコトヲ得此ノ場合ニ於テハ管理者ハ十四日間以内ニ組合會ノ決定ニ付スヘシ組合會ハ其ノ送付ヲ受ケタル日ヨリ十四日以内ニ之ヲ決定スヘシ

前項組合會ノ決定ニ不服アル者ハ第一次監督官廳ニ訴願スルコトヲ得

第一次監督官廳ニ於テ選舉又ハ當選ノ效力ニ關シ異議アルトキハ選舉又ハ當選ノ報告ヲ受ケタル日ヨリ二十日以内ニ之ヲ處分スルコトヲ得

前項ノ處分アリタルトキハ其ノ前後ニ爲シタル異議ノ申立及組合會ノ決定ハ無效トス

本條第一次監督官廳ノ處分又ハ裁決ニ不服アル者ハ府縣知事ニ訴願シ其ノ裁決ニ不服アル者ハ行政裁判所ニ出訴スルコトヲ得但シ府縣知事カ第

一次監督官廳タル場合ニ於テ其ノ處分又ハ裁決ニ不服アル者ハ直ニ行政

裁判所ニ出訴スルコトヲ得

組合會議員ハ選舉又ハ當選ニ關スル異議ノ決定訴願ノ裁決確定シ又ハ判決アル迄ハ會議ニ列席シ議事ニ參與スルノ權ヲ失ハス第三項ノ處分ニ依リ議員ト爲リタル者ニ付亦同シ

第二十一條 組合會議員ニシテ被選舉權ヲ有セサル者ハ其ノ職ヲ失フ其ノ被選舉權ニ關スル異議ハ組合會之ヲ決定ス

管理者ニ於テ組合會議員中被選舉權ヲ有セサル者アリト認ムルトキハ之ヲ組合會ノ決定ニ付スヘシ

本條組合會ノ決定ニ不服アル者ハ第一次監督官廳ニ訴願シ其ノ裁決ニ不服アル者ハ府縣知事ニ訴願シ其ノ裁決ニ不服アル者ハ行政裁判所ニ出訴スルコトヲ得但シ府縣知事カ第一次監督官廳タル場合ニ於テ其ノ裁決ニ不服アル者ハ直ニ行政裁判所ニ出訴スルコトヲ得

第二十二條 前二條ニ規定スル異議ノ決定訴願ノ裁決及第二十條第三項ノ處分ハ直ニ之ヲ告示スヘシ

第二十三條 組合會ハ組合ニ關スル事件ヲ議決ス

組合會ノ議決スヘキ事件ノ概目左ノ如シ

一 組合規約ヲ設定改正スル事

二 組合費ヲ以テ支辨スヘキ事業

三 歲入出豫算ヲ定ムル事

四 決算報告ヲ認定スル事

五 法律勅令ニ定ムルモノヲ除クノ外使用料手數料加入金組合費及夫役現品ノ賦課徵收ニ關スル事

六 不動產ノ管理處分及取得ニ關スル事

七 積立基金ノ設置管理及處分ニ關スル事

八 歲入出豫算ヲ以テ定ムルモノヲ除クノ外新ニ義務ノ負擔ヲ爲シ及權利ノ拋棄ヲ爲ス事

九 財產及營造物ノ管理方法ヲ定ムル事

十 組合ニ係ル訴願訴訟及和解ニ關スル事

第二十四條 組合會ハ組合ノ事務ニ關スル書類及計算書ヲ檢閱シ管理者ノ

報告ヲ請求シテ事務ノ管理議決ノ執行及出納ヲ検査スルコトヲ得

組合會ハ議員中ヨリ委員ヲ選舉シ管理者又ハ其ノ指定シタル吏員立會ノ

上實地ニ就キ前項組合會ノ權限ニ屬スル事件ヲ行ハシムコトヲ得

第二十五條 組合會ハ管理者ヲ以テ議長トス管理者故障アルトキハ其ノ代理者議長ノ職務ヲ代理ス管理者及其ノ代理者共ニ故障アルトキハ臨時ニ

議員中ヨリ假議長ヲ選舉スヘシ

組合會ハ組合ノ區域數市町村ニ涉ルモノニ在リテハ組合規約ヲ以テ議員中ヨリ議長副議長各一人ヲ選舉スルコトヲ得此ノ場合ニ於テ議長故障アルトキハ副議長之代リ議長副議長共ニ故障アルトキハ前項ノ例ニ依ル

前項選舉ニ關スル事項ハ組合規約ヲ以テ之ヲ定ムヘシ
議員中ヨリ議長ヲ選舉スル組合ニ在リテハ議長ハ會議錄ヲ添ヘ會議ノ結果ヲ管理者ニ報告スヘシ

第二十六條 管理者及其ノ委任又ハ囑託ヲ受ケタル者ハ會議ニ於テ議事ニ付辯明ヲ爲スコトヲ得

第二十七條 組合會ハ毎年一回通常會ヲ開キ其ノ他臨時ノ必要アル毎ニ臨時會ヲ開ク

臨時會ニ付スヘキ事件ハ招集ノ告知ト共ニ之ヲ告知スヘシ但シ其ノ開會中急施ヲ要スル事件アルトキハ管理者ハ直ニ之ヲ其ノ會議ニ付スルコトヲ得

組合會ハ管理者之ヲ招集ス議員定數三分ノ一以上ノ請求アルトキハ管理者ハ之ヲ招集スヘシ

管理者ハ必要アル場合ニ於テハ會期ヲ定メテ組合會ヲ招集スルコトヲ得

組合會ノ會議ハ公開ス但シ左ノ場合ハ此ノ限ニ在ラス
一 管理者ヨリ傍聴禁止ノ要求ヲ受クタルトキ
二 議長ニ於テ傍聴禁止ノ必要アリト認メタルトキ

三 議員三人以上ノ發議ニ依リ傍聴禁止ヲ可決シタルトキ
前項第三號ニ依ル發議ハ討論ヲ用ヰス其ノ可否ヲ決スヘシ

招集ハ開會ノ日ヨリ少クトモ三日前ニ告知スヘシ但シ急施ヲ要スル場合ハ此ノ限ニ在ラス

組合會ハ管理者之ヲ開閉ス

第二十八條 組合會ハ議員定數ノ半數以上出席スルニ非サレハ會議ヲ開ク
コトヲ得ス但シ同一ノ事件ニ付招集再回ニ至ルモ仍半數ニ満タサルトキ

又ハ招集ニ應スルモ出席議員定數ヲ闕キ議長ニ於テ更ニ出席ヲ催告シ仍半數ニ満タサルトキハ此ノ限ニ在ラス

第二十九條 組合會ノ議事ハ過半數ヲ以テ決ス可否同數ナルトキハ議長ノ決スル所ニ依ル

更ニ關スル議決ハ議員定數ノ三分ノ二以上ノ同意ヲ得ルコトヲ要ス

第三十一條 組合會ノ職務權限及處務規程ニ關シテハ本章中規定スルモノノ外市制町村制ノ規定ヲ準用ス

第三十二條 特別ノ事情アル組合ニ於テハ府縣知事ハ組合會ヲ設ケス組合會ノ總會ヲ以テ之ニ充ツルコトヲ得但シ總會ニ出席スヘキ組合員ニ關シテハ組合規約ノ定ムル所ニ依ル

組合總會ニ關シテハ組合會ニ關スル規定ヲ準用ス

第四章 組合ノ管理

第三十三條 府縣知事ハ水利組合關係地ノ郡長又ハ市町村長ノ内一人ヲ指定シ其ノ組合ノ事務ヲ管理セシムヘシ

府縣知事ニ於テ管理者ヲ指定シタルトキハ直ニ之ヲ告示スヘシ

管理者タル郡長又ハ市町村長故障アルトキハ其ノ代理者之ヲ代理ス

組合ノ區域數市町村ニ涉ル場合ニ於テ選舉區又ハ選舉分會ヲ設ケタルトキハ各市町村長又ハ其ノ代理者ハ管理者ノ求ニ依リ議員選舉ニ關スル事務ヲ管理スヘシ組合員及組合費賦課物件ノ異動ニ關スル事務ニ付テモ亦

務ヲ管理スヘシ組合員及組合費賦課物件ノ異動ニ關スル事務ニ付テモ亦同シ

第三十四條 組合ノ出納其ノ他會計事務ハ郡長管理者タル場合ハ郡長ノ指定シタル郡書記ヲシテ之ヲ掌ラシメ市町村長管理者タル場合ハ其ノ市町村收入役ヲシテ之ヲ掌ラシムヘシ

特別ノ事情アル場合ニ於テハ管理者ニ於テ第三十六條ノ吏員中ニ就キ會計事務ヲ掌ル者ヲ定ムルコトヲ得

前項會計事務ヲ掌ル吏員ニ付テハ府縣知事ノ認可ヲ受クヘシ
第一次監督官廳

第三十五條 組合ハ組合規約ヲ以テ臨時又ハ常設ノ委員ヲ置クコトヲ得
委員ノ組織選任任期等ニ關スル事項ハ組合規約ヲ以テ之ヲ定ムヘシ

第三十六條 組合ハ書記技術員其ノ他ノ有給吏員ヲ置クコトヲ得
吏員ハ監理者之ヲ任免ス

第三十七條 管理者ハ組合ヲ代表シ組合一切ノ事務ヲ擔任ス

管理者ノ擔任スル事務ノ概目左ノ如シ

一 組合會ノ議決ヲ經ヘキ事件ニ付其ノ議案ヲ發シ及其ノ議決ヲ執行スル事

二 財產及營造物ヲ管理スル事

三 収入支出ヲ命令シ及會計ヲ監督スル事

四 證書及公文書類ヲ保管スル事

五 法令又ハ組合會ノ議決ニ依リ使用料手數料加入金組合費及夫役現品ヲ賦課徵收スル事

第三十八條 管理者ハ組合吏員ヲ指揮監督シ其ノ任命ニ係ル組合吏員ニ對シテハ懲戒ヲ行フコトヲ得其ノ懲戒處分ハ譴責及五圓以下ノ過怠金トス

第三十九條 組合會ノ議決若ハ選舉其ノ權限ヲ越エ又ハ法令若ハ組合規約ニ背クト認ムルトキハ管理者ハ其ノ意見ニ依リ又ハ監督官廳ノ指揮ニ依リ理由ヲ示シ其ノ執行ヲ要スルモノニ在リテハ其ノ執行ヲ停止シ之ヲ再議ニ付シ又ハ再選舉ヲ行ハシメ仍議決ニ付テハ其ノ議決ヲ改メサルトキハ第一次監督官廳ノ指揮ヲ請フヘシ但シ場合ニ依リ再議ニ付セスシテ直ニ指揮ヲ請フコトヲ得

監督官廳ハ前項ノ議決又ハ選舉ヲ取消スコトヲ得但シ指揮ノ申請アリタルトキハ此ノ限ニ在ラス

前二項郡長ノ處分ニ不服アル組合會ハ府縣知事ニ訴願シ其ノ裁決又ハ前二項府縣知事ノ處分ニ不服アル組合會ハ行政裁判所ニ出訴スルコトヲ得組合會ノ議決公益ヲ害シ又ハ組合ノ收支ニ關シ不適當ナリト認ムルトキハ管理者ハ其ノ意見ニ依リ又ハ監督官廳ノ指揮ニ依リ理由ヲ示シ其ノ執行ヲ要スルモノニ在リテハ其ノ執行ヲ停止シ之ヲ再議ニ付シ仍其ノ議決ヲ改メサルトキハ第一次監督官廳ノ指揮ヲ請フヘシ但シ場合ニ依リ再議ニ付セスシテ直ニ指揮ヲ請フコトヲ得

前項第一次監督官廳ノ處分ニ不服アル組合會ハ府縣知事ニ訴願シ其ノ裁決ニ不服アルトキハ内務大臣ニ訴願スルコトヲ得但シ府縣知事カ第一次監督官廳タル場合ニ於テ其ノ裁決ニ不服アルトキハ直ニ内務大臣ニ訴願スルコトヲ得

第四十條 組合會成立セス又ハ第二十八條但書ノ場合ニ於テ仍會議ヲ開クコト能ハサルトキハ管理者ハ第一次監督官廳ニ具狀シテ指揮ヲ請ヒ其

ノ議決スヘキ事件ヲ處分スルコトヲ得

組合會ニ於テ其ノ議決スヘキ事件ヲ議決セサルトキハ前項ノ例ニ依ル組合會ノ決定スヘキ事件ニ關シテハ前二項ノ例ニ依ル此ノ場合ニ於ケル管理者ノ處分ニ關シテハ各本條ノ規定ニ準シ訴願及訴訟ヲ提起スルコトヲ得

本條ノ處分ハ次回ノ會議ニ於テ之ヲ組合會ニ報告スヘシ

第四十一條 組合會ノ權限ニ屬スル事件ニ關シ臨時急施ヲ要スル場合ニ於テ組合會成立セス又ハ管理者ニ於テ之ヲ招集スルノ暇ナシト認ムルトキハ管理者ハ專決處分シ次回ノ會議ニ於テ之ヲ組合會ニ報告スヘシ

前項管理者ノ處分ニ關シテハ各本條ノ規定ニ準シ訴願及訴訟ヲ提起スルコトヲ得

第四十二條 委員ハ管理者ノ指揮監督ヲ承ケ財產又ハ營造物ヲ管理シ其ノ他組合事務ノ一部ヲ調査シ又ハ一時ノ委託ニ依リ事務ヲ處辨ス

第四十三條 吏員ハ管理者ノ命ヲ承ケ庶務ニ從事ス

第四十四條 組合會議員及委員ハ職務ノ爲要スル費用ノ辨償ヲ受クルコトヲ得郡長又ハ市町村長ニ於テ管理者タル職務ヲ行フ爲要スル費用第三十三條第四項ノ事務ヲ行フ爲要スル費用及郡書記又ハ市町村收入役ニ於テ組合ノ會計事務ヲ行フ爲要スル費用ニ付亦同シ

吏員ニハ退隱料退職給與金死亡給與金及遺族扶助料ヲ支給スルコトヲ得第四十五條 費用辨償額給料額旅費額及其ノ支給方法ハ組合會ノ議決ヲ經第一次監督官廳ノ許可ヲ得テ之ヲ定ム

退隱料退職給與金死亡給與金及遺族扶助料及其ノ支給方法ハ組合會ノ議決ヲ經内務大臣ノ許可ヲ得テ之ヲ定ム

第四十六條 費用辨償給料旅費退隱料退職給與金死亡給與金及遺族扶助料ハ組合ノ負擔トス

第五章 組合ノ財務

第四十七條 組合ハ其ノ必要ナル費用及法律勅令ニ依リ組合ノ負擔ニ屬スル費用ヲ支辨スル義務ヲ負フ

第四十八條 普通水利組合費ハ土地ニ對シテ之ヲ賦課シ水害豫防組合費ハ土地及家屋其ノ他第八條ニ依ル工作物ニ對シテ之ヲ賦課スルモノトス但シ特別ノ事情アルモノハ土地ニ對シテノミ之ヲ賦課スルコトヲ得

普通水利組合ニ於テハ新ニ區域内ニ編入スル土地ニ付組合費ノ外一時ノ加入金ヲ徵收スルコトヲ得

第四十九條 組合ハ其ノ事業ノ爲夫役現品ヲ組合員ニ賦課スルコトヲ得
水害豫防組合ニ在リテハ夫役ニ限リ其ノ區域内ノ總居住者ニ之ヲ賦課スルコトヲ得

夫役現品及其ノ代納ニ關スル規定ハ組合規約ヲ以テ之ヲ定ムヘシ
第五十條 非常災害ノ爲必要アルトキハ組合ハ他人ノ土地ヲ一時使用シ又ハ其ノ土石竹木其ノ他ノ現品ヲ使用シ若ハ收用スルコトヲ得但シ其ノ損失ヲ補償スルコトヲ要ス

水害豫防組合ニ於テハ前項ノ外出水ノ爲危險アルトキニ限リ管理者警察官又ハ監督官廳ニ於テ組合區域内ノ總居住者ヲシテ防禦ニ從事セシムルコトヲ得

第一項ニ依リ補償スヘキ金額ハ協議ニ依リ之ヲ定ム協議調ハサルトキハ鑑定人ノ意見ヲ徵シ府縣知事之ヲ決定ス其ノ決定ニ不服アル者ハ内務大臣ニ訴願スルコトヲ得

第一項土地ノ一時使用ニ關スル組合ノ處分ニ不服アル者ハ第一次監督官廳ニ訴願シ其ノ裁決ニ不服アル者ハ府縣知事ニ訴願シ其ノ裁決ニ不服アル者ハ内務大臣ニ訴願スルコトヲ得

第五十一條 組合内ノ一部ニ對シ特ニ利益アル事件ニ關シテハ組合ハ不均一ノ賦課ヲ爲シ又ハ組合内ノ一部ニ對シ特ニ賦課スルコトヲ得
第五十二條 組合費ノ賦課ヲ免除スヘキモノニ關シテハ市町村稅ノ例ニ依ル

第五十三條 組合ハ其ノ營造物ヲ事業ノ妨害ト爲ラサル範圍内ニ於テ他ノ目的ニ使用セシムルコトヲ得
第五十四條 組合ノ區域數市町村ニ涉ルトキハ各市町村ハ管理者ノ求ニ依リ其ノ市町村内ニ於ケル組合費其ノ他組合ノ收入ノ賦課徵收ヲ爲「スシ」前項組合費其ノ他組合ノ收入ノ徵收ニ關シテハ組合規約ノ規定ニ依リ徵收金百分ノ四以内ヲ其ノ市町村ニ交付スルコトヲ得

第五十五條 市町村ハ避クヘカラサル災害ニ因リ既收ノ組合費其ノ他組合ノ收入ヲ失ヒタルトキハ其ノ納入義務ノ免除ヲ組合ニ請求スルコトヲ得

組合ニ於テ前項ノ請求ニ應セサルトキハ市町村ハ其ノ通知ヲ受ケタル日ヨリ十四日以内ニ組合ノ第一次監督官廳ニ訴願シ其ノ裁決ニ不服アルトキハ府縣知事ニ訴願シ其ノ裁決ニ不服アルトキハ内務大臣ニ訴願スルコトヲ得但シ府縣知事カ第一次監督官廳タル場合ニ於テ其ノ裁決ニ不服アルトキハ直ニ内務大臣ニ訴願スルコトヲ得

前項ノ裁決ニ對シテハ組合ヨリモ亦訴願ヲ提起スルコトヲ得
本條ノ裁決書ハ之ヲ市町村及組合ニ交付スヘシ
第五十六條 組合費其ノ他組合ノ收入ノ督促及滯納處分ニ關シテハ市町村稅ノ例ニ依ル

前項ノ場合ニ關シテハ第五十四條第一項ノ規定ヲ準用ス
第五十七條 組合費其ノ他組合ノ收入ノ督促ニ付テハ手數料ヲ徵收スルコトヲ得
前條第二項ノ場合ニ於テハ前項ノ督促手數料ヲ其ノ市町村ニ交付スヘシ
組合ノ徵收金ハ市町村ノ徵收金ニ次テ先取特權ヲ有シ其ノ追徵還付及時效ニ付テハ國稅ノ例ニ依ル

第五十八條 管理者ハ組合費ノ賦課ヲ受ケタル者ノ中特別ノ事情アル者ニ對シ會計年度内ニ限り其ノ納付ノ延期ヲ許スコトヲ得其ノ年度ヲ越ユル場合ハ組合會ノ議決ヲ經ヘシ
管理者ハ特別ノ事情アル者ニ限り組合會ノ議決ヲ經テ組合費ヲ減免スルコトヲ得

第五十九條 組合費及夫役現品ノ賦課ヲ受ケタル者其ノ賦課ニ付違法又ハ錯誤アリト認ムルトキハ賦課令狀ノ交付後三月以内ニ管理者ニ異議ノ申立ヲ爲スコトヲ得
加入金使用料及手數料ノ徵收ニ付テモ亦前項ノ例ニ依ル

本條ノ異議ハ組合會ノ決定ニ付スヘシ其ノ決定ニ不服アル者ハ第一次監督官廳ニ訴願シ其ノ裁決ニ不服アル者ハ府縣知事ニ訴願シ其ノ裁決ニ不服アル者ハ行政裁判所ニ出訴スルコトヲ得但シ府縣知事カ第一次監督官廳タル場合ニ於テ其ノ裁決ニ不服アル者ハ直ニ行政裁判所ニ出訴スルコトヲ得

組合費其ノ他組合ノ收入ノ滯納處分ニ不服アル者ハ第一次監督官廳ニ訴願シ其ノ裁決ニ不服アル者ハ府縣知事ニ訴願シ其ノ裁決ニ不服アル者ハ行政裁判所ニ出訴スルコトヲ得但シ府縣知事カ第一次監督官廳タル場合ニ於テ其ノ裁決ニ不服アル者ハ直ニ行政裁判所ニ出訴スルコトヲ得

組合費其ノ他組合ノ收入ノ滯納處分中差押物件ノ公賣ハ處分ノ確定ニ至ル迄執行ヲ停止ス

第六十條 組合ハ特定ノ目的ノ爲積立基金ヲ設クルコトヲ得

第六十一條 組合ハ其ノ事業ノ關係上必要アル場合ニ於テハ寄附又ハ補助ヲ爲スコトヲ得

第六十二條 組合ハ其ノ負債ヲ償還スル爲又ハ組合永久ノ利益トナルヘキ支出ヲ要スル者又ハ天災事變等ノ爲已ムヲ得サル場合ニ限り組合債ヲ起

組合債ヲ起スニ付組合會ノ議決ヲ經ルトキハ併セテ起債ノ方法利息ノ定率及償還ノ方法ニ付議決ヲ經ヘシ

組合ハ豫算内ノ支出ヲ爲ス爲本條ノ例ニ依ラス一時ノ借入金ヲ爲スコトヲ得

前項ノ借入金ハ其ノ會計年度内ノ收入ヲ以テ償還スヘシ
第六十三條 管理者ハ每會計年度ノ歲入出豫算ヲ調製シ會計年度前通常組合會ノ議決ニ付スヘシ

第六十四條 組合會ノ議決ヲ經テ既定豫算ノ追加又ハ更正ヲ爲スコトヲ得

組合ノ會計年度ハ政府ノ會計年度ニ同シ

第六十五條 豫算外ノ支出又ハ豫算超過ノ支出ニ充ツル爲豫備費ヲ設クヘシ

豫備費ハ組合會ノ否決シタル費用ニ充ツルコトヲ得ス
第六十六條 豫算ハ議決ヲ經タル後直ニ之ヲ第一次監督官廳ニ報告シ且其ノ要領ヲ告示スヘシ

第六十七條 組合會ニ於テ豫算ヲ議決シタルトキハ管理者ヨリ其ノ賛成ヲ組合ノ會計事務ヲ掌ル官吏吏員ニ交付スヘシ

會計事務ヲ掌ル官吏吏員ハ管理者又ハ監督官廳ノ命令アルニ非サレハ支拂ヲ爲スコトヲ得ス又命令ヲ受クルモ支出ノ豫算ナキトキ又ハ豫備費支出及費目流用其ノ他財務ニ關スル規定ニ依ラサルトキ亦同シ

第六十八條 組合ノ支拂金ニ關スル時效ニ付テハ政府ノ支拂金ノ例ニ依ル第六十九條 組合ノ出納ハ翌年度六月三十日ヲ以テ閉鎖ス

決算ハ出納閉鎖後一月以内ニ證書類ヲ併セテ會計事務ヲ掌ル官吏吏員ヨリ之ヲ管理者ニ提出スヘシ管理者ハ之ヲ審査シ意見ヲ付シテ次ノ通常會迄ニ組合會ノ認定ニ付スヘシ

決算及其ノ認定ニ關スル組合會ノ議決ハ之ヲ第一次監督官廳ニ報告シ且決算ハ其ノ要領ヲ告示スヘシ

決算ノ認定ニ關スル會議ニ於テハ管理者及其ノ代理者共ニ議長タルコトヲ得ス

第七十條 豫算調製ノ式及費目流用其ノ他財務ニ關シ必要ナル規定ハ内務大臣之ヲ定ム

第六章 組合ノ聯合

第七十一條 水利組合ニ於テ共同事業ヲ爲スノ必要アルトキハ其ノ協議ニ依リ府縣知事ノ許可ヲ得テ水利組合ノ聯合ヲ設クルコトヲ得

水利組合聯合ハ之ヲ法人トス

水利組合聯合ニシテ其ノ聯合組合ノ數ヲ増減シ又ハ共同事業ノ變更ヲ爲サムトスルトキハ組合ノ協議ニ依リ府縣知事ノ許可ヲ受クヘシ其ノ聯合ヲ解カムトスルトキ亦同シ

水利組合聯合ニ關シテハ水利組合ニ關スル規定ヲ準用ス其ノ準用シ難キ事項及特ニ必要ナル事項ハ内務大臣ノ許可ヲ得テ府縣知事之ヲ定ム

第七章 組合ノ監督

第七十二條 組合ハ第一次ニ於テ郡長之ヲ監督シ第二次ニ於テ府縣知事之ヲ監督シ第三次ニ於テ内務大臣之ヲ監督ス但シ組合ノ區域郡市若ハ數郡ニ涉リ又ハ市内ニ止ル場合及郡内ニ止ルモ郡長管理者タル場合ハ第一次監督官廳ハ組合事務ノ監督上必要ナル命令ヲ發シ處分ヲ爲スコトヲ得上級監督官廳ハ下級監督官廳ノ組合事務ニ關シテ爲シタル命令又ハ處分ヲ停止シ又ハ之ヲ取消スコトヲ得

第七十三條 本法ニ規定スル異議ノ申立又ハ訴願ノ提起ハ處分ヲ爲シ又ハ
決定書若ハ裁決書ノ交付ヲ受ケタル日ヨリ其ノ交付ヲ受ケサル者ハ告示
ノ日ヨリ十四日以内ニ之ヲ爲スヘシ但シ本法中別ニ期間ヲ定メタルモノ
ハ此ノ限り在ラス

本法ニ規定スル行政訴訟ハ處分ヲ爲シ又ハ裁決書ノ交付ヲ受ケタル日ヨ
リ其ノ交付ヲ受ケサル者ハ告示ノ日ヨリ二十一日以内ニ之ヲ提起スヘシ」
本法ニ規定スル異議ノ決定ハ文書ヲ以テ之ヲ爲シ理由ヲ付シ之ヲ申立人
ニ交付スヘシ

本法ニ規定スル異議ノ申立ニ關スル期間ノ計算ニ付テハ訴願法ノ規定ニ
依ル

異議ノ申立アルモ處分ノ執行ハ之ヲ停止セス但シ行政廳ハ其ノ職權ニ依
リ又ハ關係者ノ請求ニ依リ必要ト認ムルトキハ之ヲ停止スルコトヲ得

第七十四條 監督官廳ハ必要アル場合ニ於テハ期間ヲ定メテ組合會ノ停會
ヲ命スルコトヲ得

第七十五條 内務大臣ハ組合會ノ解散ヲ命スルコトヲ得

組合會解散ノ場合ニ於テハ三月以内ニ議員ヲ選舉スヘシ

第七十六條 組合ニ於テ法律勅令ニ依テ負擔シ又ハ當該官廳ノ職權ニ依テ
命スル所ノ費用ヲ豫算ニ載セサルトキハ第一次監督官廳ハ理由ヲ示シテ
其ノ費用ヲ豫算ニ加フルコトヲ得

組合又ハ管理者其ノ他ノ官吏吏員ニ於テ執行スヘキ事件ヲ執行セサルト
キハ第一次監督官廳ニ於テ之ヲ執行スルコトヲ得但シ其ノ費用ハ組合ノ
負擔トス

本條ノ處分ニ不服アル組合又ハ管理者其ノ他ノ官吏吏員ハ府縣知事ニ訴
願シ其ノ裁決ニ不服アルトキハ行政裁判所ニ出訴スルコトヲ得但シ府縣
知事カ第一次監督官廳タル場合ニ於テ其ノ處分又ハ裁決ニ不服アルトキ
ハ直ニ行政裁判所ニ出訴スルコトヲ得

第七十七條 組合ニ於テ負債ヲ起シ竝起債ノ方法利息ノ定率及償還ノ方法
ヲ定メ又ハ變更セムトスルトキハ内務大臣及大藏大臣ノ許可ヲ受クヘシ
但シ第六十二條第三項ノ借入金ハ此ノ限り在ラス

第七十八條 左ニ掲クル事件ハ府縣知事ノ許可ヲ受クヘシ

一 組合規約ヲ設定改正スル事

二 不動産ノ管理及處分ニ關スル事

三 不均一ノ賦課ヲ爲シ又ハ組合内ノ一部ニ對シ特ニ賦課ヲ爲ス事

四 加入金使用料手數料ヲ新設シ増額シ又ハ變更スル事

五 積立基金ノ設置管理及處分ニ關スル事

六 寄附及補助ヲ爲ス事

七 繼續費ヲ定メ又ハ變更スル事

第七十九條 組合ノ事務ニ關シ監督官廳ノ許可ヲ受クヘキ事件ニ付テハ監
督官廳ハ許可申請ノ趣旨ニ反セズスト認ムル範圍内ニ於テ更正シテ許可ヲ
與フルコトヲ得

第八十條 組合ノ事務ニ關シ監督官廳ノ許可ヲ受クヘキ事件中其ノ輕易
ナルモノハ命令ノ規定ニ依リ其ノ許可ノ職權ヲ下級監督官廳ニ委任スル
コトヲ得

第八十一條 監督官廳タル府縣知事郡長ハ第三十五條ノ委員及第三十六條
ノ吏員ニ對シ懲戒ヲ行フコトヲ得其ノ懲戒處分ハ譴責二十五圓以下ノ過
怠金及解職トス

郡長ノ行ヒタル解職ニ不服アル者ハ府縣知事ニ訴願シ其ノ裁決又ハ府縣
知事ノ行ヒタル解職ニ不服アル者ハ内務大臣ニ訴願スルコトヲ得

府縣知事ハ吏員ノ解職ヲ行ハムトスル前其ノ停職ヲ命シ且場合ニ依リ給
料又ハ報酬ヲ支給セシメサルコトヲ得

懲戒ニ依リ解職セラレタル者ハ二年間水利組合ノ公職ニ選舉セラレ又ハ
任命セラルルコトヲ得ス

第八十二條 組合吏員ノ服務紀律賠償責任身元保證及事務引繼ニ關スル規
定ハ命令ヲ以テ之ヲ定ム

第八章 雜則

第八十三條 本法ノ規定ニ依リ初テ議員ヲ選舉スル場合ニ於テ組合會ノ議
決スヘキ事項ハ其ノ成立ニ至ル迄管理者ニ於テ之ヲ行フヘシ

第八十四條 本法ノ規定ニ依リ府縣知事ノ職權ニ屬スル事件ニシテ數府縣
ニ涉ルモノアルトキハ關係府縣知事ノ具狀ニ依リ内務大臣ニ於テ其ノ事
件ヲ管理スヘキ府縣知事ヲ指定スヘシ

第八十五條 本法ハ市制町村制ヲ施行セサル地ニハ之ヲ施行セス勅令ヲ以
テ別ニ其ノ制ヲ定ム

附 則

本法施行ノ期日ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム

〔國務大臣松田正久君演壇ニ登ル〕

○國務大臣(松田正久君) 本案ハ原油輸入稅率ヲ改正スル必要ガアリマシテ、提出イタシマシタノデアリマスル、今日ノ所、原油輸入稅ハ二割デアリマスルガ、近來原油輸入ノ趨勢ガ

〔伯爵柳原義光君モット大キナ聲デ願ヒマス「ト呼フ」〕

餘ホド盛ニナリマシテ、今後原油ヲ輸入シテ燈油ヲ精製スルコトガ頗ル盛大ニナルカノ見込デアリマス、然ルニ燈油ノ稅率ハ五割デアリマスルガ、原油ハ唯二割ヲ課シテアリマスル、右ノ如ク原油輸入ノ趨勢ガ盛ニナッテ參リマ

スルト、一面ニ於テハ内國石油ノ製造ニ大ナル影響ヲ及ボスノ虞ガアリマスルシ、又一面ニハ五割ノ燈油ノ輸入ガ減リマス、隨ツテ關稅ノ收入ニ巨大ナ影響ヲ及ボスノ虞レガゴザイマスル、ソレ故ニ、此原油ノ輸入稅ヲ高メマシテ、一方ニハ内國石油ノ事業ヲ保護シ、又一面ニハ今後ノ收入ノ減少ヲ豫防スルノ必要ガアルト考ヘマシテ、此關稅ノ改正案ヲ提出イタシタ次第デゴザイマスル、其詳細ナルコトニ至リマシテハ、特別委員會ニ於テ説明ヲ致スデゴザイマセウガ、宜シク御審議ノ上御協賛ヲ願ヒマス

○男爵石黒忠惠君 此案ニ付キマシテ、チヨット質問イタシタウゴザイマス、此石油ノ原油ト申シマスルモノハ、米國、ソレカラ「ボルネヲ」若クハ露國アタリカラ來ルモノノヤウニ存ジマスガ、何レヨリ輸入イタシマスモデゴザイマスカト云フコトト、ソレカラ段々機關用ニ石油ヲ用ヰマス趣ニ承ハリマスガ、帝國海軍デハ現時若クハ今後トモ石油ト云フモノヲ機關用ニ御用ヰニテ居リマスカ、若シ現時御用ヰニナッテ居ラレヌナラバ、今後御用ヰニナル御見込デアリマセウカト云フコトヲ承ハリタウゴザイマス

〔政府委員柳原義光君演壇ニ登ル〕

○政府委員(櫻井鐵太郎君) 唯今ノ前段ノ方ノ御問ニハ私カラ御答ヲ申上ゲマス、石油ノ現時我國ニ這入リマスノハ亞米利加ガ主デゴザイマス、其他露西亞等ノ油モ這入ツテ參リマス、是ハ燈油ノコトデアリマス、原油ニ付キマシテハ今日マデハ名ク這入ツテ居リマセヌ、是マデ這入リマシタノハ、亞米利加ノ「カリフォルニヤ」ノ原油ガ數回輸入イタシテ居リマス、左様御承知ヲ願ヒマス

〔政府委員加藤友三郎君演壇ニ登ル〕
○政府委員(加藤友三郎君) 石油ヲ海軍ニ使用スルカドウカト云フ唯今御質問デアリマシタガ、現今ハ試驗的ニ若干使用イタシテ居リマス、又今後モ相當ノ數量ハ使用イタス考デ居リマス

○伯爵廣澤金次郎君 私モ政府委員ニ一二箇條質問ガアリマスガ、其第一ニハ内地產ノ石油、即チ燈油ハ全國ノ需用高ノ幾分ノ一二當ツテ居ルカト云フコトヲ統計表上、大藏省ノ政府委員カラ伺ヒタイト思ヒマス、第二ニハ矢張リ是ハ一種ノ増稅案ト考ヘマスガ、之ニ依ツテ政府ノ收入ノ増額ハドノ位ニナリマスカ、此二箇條ヲ伺ヒタイ

〔政府委員櫻井鐵太郎君演壇ニ登ル〕

○政府委員(櫻井鐵太郎君) 御答ヲ申上マス、現在日本デ消費イタシマスル燈油ノ數量ハ二百萬箱ト申シテ居リマス、：：二百萬箱ハ間違ヒマシタ、二百萬石デゴザイマス、其中三分ノ一ホドガ内地ノ石油ニナッテ居リマス、凡ソ三分ノ二ガ外國ヨリ輸入スルト云フ有様ニナッテ居リマス、ソレカラ此改正案ニ於キマシテハ、別ニ增稅ト云フ意味ハ少シモ持ツテ居リマセヌ、即チ現今ノ石油ノ輸入稅ハ御承知ノ通リ十「ガロン」ニ付キマシテ九十六錢デアル、其割合デ原油ノ輸入稅ヲ權衡ヲ得ルヤウニ直サウト云フノデアリマスカラ、石油ノ九十六錢ト云フモノヲ動カシマセヌ以上ハ、今日ヨリ石油ノ直段ガ高クナルコトモアリマセヌシ、又關稅ノ收入モ別ニ増加スルト云フコトハナイ積リデアリマス

○議長(公爵德川家達君) 議事日程第五ニ移リマス、右議案ノ審査ヲ付託スベキ特別委員ノ選舉、此委員モ議長ガ選定イタシテ御異存ゴザイマセヌカ
〔異議ナシ「ト呼フ者アリ」〕

○議長(公爵二條基弘君演壇ニ登ル)
御異議ナイト認メマス

○議長(公爵德川家達君) 議事日程第六、陸軍刑法案、政府提出、第一讀會ノ續、委員長報告、二條公爵
〔公爵二條基弘君演壇ニ登ル〕
○議長(公爵德川家達君) 委員長ノ報告ハ議事日程第七ノ法案ノ報告モ一括シテ致シタ方ガ都合ガ宜イ趣デアリマスガ、別段諸君ニ於テ御異存ハゴザイ

マセヌカ

「異議ナシ」ト呼フ者アリ

○議長(公爵徳川家達君) 御異議ナイト認メマス

陸軍刑法案

右別冊ノ通り修正セリ依テ及報告候也

明治四十一年三月十日

右特別委員長

公爵 二條 基弘

貴族院議長公爵徳川家達殿

〔特別委員ノ修正ニ係ル條ノミヲ載錄ス〕
〔小字ハ修正ノハ削除ノ符號〕

第二條 本法ハ陸軍軍人ニ非スト雖左ニ記載シタル罪ヲ犯シタル者ニ之ヲ適用ス

一 第六十七條乃至第。六十七條ノ罪及此等ノ罪ノ未遂罪

二 第七十七條ノ罪

三 第八十九條乃至第八十八條ノ罪

四 第八十九條乃至第九十二條ノ罪

五 第九十四條乃至第九十六條ノ罪及第九十四條、第九十五條ノ未遂罪

六 第九十八條第一項、第九十九條、第。百條第二項及第。百一條ノ罪

第七條 陸軍ト共同作戦ニ從フ外國ノ陸海軍ニ屬スル者ニ對スル行爲ハ其ノ職務、官等、等級又ハ階級ニ相當スル陸軍軍人ニ對スル行爲ト看做ス但シ其ノ外國ニ於テ同一ノ取扱チ爲スコトヲ保セサル場合ハ此ノ限ニ在ラス

第十條 陸軍將校相當官、陸軍准士官、海軍將校、同相當官。及海軍准士官ハ陸軍將校ニ準ス陸軍士官ノ候補者ニシテ士官ノ勤務ニ服スル者及海軍候補生亦同シ

第二十條 戰時ト稱スルハ宣戰ノ公布アリタル時又ハ現ニ開戰シタル時ヨリ平和克復ノ時迄ヲ謂フ

第二十一條 軍中ト稱スルハ左ニ記載シタル部隊ニ在ル場合ヲ謂フ

一 戰時ノ體勢ヲ執リタル部隊但シ留守部隊、衛戍勤務ニ服スル後備又ハ國民諸隊、戰地以外ノ地ニ在ル輸送又ハ補給諸機關ニシテ對敵状態ニ在ラサルモノヲ除ク

二 戰時ノ體勢ヲ執ラサルモ對敵狀態ニ在ル部隊

三 内亂、事變又ハ一地方ノ騷擾ニ際シ其ノ鎮定ニ從事スル部隊

第二十二條 陸軍ニ於テ死刑ヲ執行スルトキハ陸軍法衙ヲ管轄スル長官ノ定ムル場所ニ於テ銃殺ス

第二十三條 前條ノ規定ハ刑法又ハ他ノ法令ニ依リ處斷シタル場合ニ亦之ヲ適用ス

〔第二十四條ノ第二十二條ニ「第二十五條」ヲ「第二十三條」ニ修正ス〕
〔第二十六條 本法ニ依リ死刑ニ處セラレタル者ノ執行ノ免除アリタル日ヨリ五年内ニ更ニ本法、刑法又ハ他ノ法令ノ罪ヲ犯シ有期徒役ニ處スヘキトキハ前ノ罪ヲ懲役ニ該ル罪ト同質ノ罪ト認ムルトキニ限り之ヲ再犯トス〕〔第二十七條ノ「第二十四條」ニ「第二十八條」ヲ「第二十五條」ニ「第二十九條」ヲ「第二十六條」ニ修正ス〕
〔第二十七條 左ニ記載シタル行爲ヲ爲シタル者ハ死刑ニ處ス〕
〔第二十八條 第。百一條ノ罪物其ノ他ノ物ヲ敵國ニ交付シタルトキ〕

一 軍隊又ハ要塞、陣營、艦船、兵器、彈藥其ノ他軍用ニ供スル場所。若ハ建造スルコト

二 軍事上ノ機密ヲ敵國ニ漏泄シタルトキ

二 敵國ノ爲ニ間諜ヲ爲シ又ハ敵國ノ間諜ヲ幫助シタルトキ

四 敵國ノ爲ニ嚮導ヲ爲シ又ハ地理ヲ指示シタルトキ

六 敵國ノ爲ニ俘虜ヲ奪取シ又ハ之ヲ逃走セシメタルトキ

〔第三十一條 敵國ヲ利スル爲左ニ記載シタル行爲ヲ爲シタル者ハ死刑ニ處ス〕

一 要塞、陣營、艦船、兵器、彈藥其ノ他軍用ニ供スル場所。^{建造物其ノ他ノ}損壊シ又ハ使用スルコト能ハサルニ至ラシメタルトキ

二 水陸ノ通路、橋梁ヲ損壊又ハ壅塞シ又ハ其ノ他ノ方法ヲ以テ軍隊、艦船ノ往來ノ妨害ヲ生セシメタルトキ

三 司令官軍隊ヲ率ヰテ守地若ハ配置ノ地ニ就カス又ハ其ノ地ヲ離レタルコト^{ムルコト}

四 隊兵ヲ解散シ又ハ其ノ潰走混亂ヲ誘起シ又ハ其ノ連絡集合ヲ妨害シタルトキ

五 兵器、弾薬、糧食、被服其ノ他軍用ニ供スル物ヲ缺乏セシメタルトキ

六 命令、通報若ハ報告ヲ詐リ傳ヘ又ハ虛偽ノ命令、通報若ハ報告ヲ爲シタルトキ

七 造言飛語シ又ハ敵前ニ於テ叫呼喧噪シタルトキ

八 第三十二條^{〔第二十九條〕ニ「第三十三條」ヲ「第三十條」ニ「第三十四條」ヲ「第三十一條」ニ修正ス} 第三十五條^{〔二十八條乃至第三十三條ノ罪ノ豫備又ハ陰謀ヲ爲シタル者ハ一年以上ノ有期徒役又ハ禁錮ニ處ス〕}

九 第三十六條^{〔二十八條又ハ第二十九條ノ罪ノ豫備又ハ陰謀ヲ爲シタル者未タ事ヲ行ハサル前自首シタルトキハ其ノ刑ヲ免除ス〕}

十 第三十七條^{〔第三十四條ニ修正シ第三十八條以下第五十八條迄條數ヲ順次繰上ク〕}

十一 第五十九條^{〔四十九條乃至第五十六條乃至第五十八條ノ未遂罪ハ之ヲ罰ス〕}

十二 第五十二条^{〔四十九條乃至第五十六條乃至第五十八條ノ未遂罪ハ之ヲ罰ス〕}

十三 第七十五条^{〔二十九條乃至第七十三條ノ未遂罪ハ之ヲ罰ス〕}

十四 第七十六条^{〔二十九條乃至第七十三條ニ修正シ第七十七條以下第八十條迄條數ヲ順次繰上ク〕}

第八十一條 第七十八條第一號、第七十九條第一號及前條ノ未遂罪ハ之ヲ罰ス

七十九

第八十二條 陸軍ノ工場、船舶、戰鬪ノ用ニ供スル建造物、汽車、電車若ハ橋梁又ハ陸軍ノ軍用ニ供スル物ヲ貯藏スル倉庫ヲ燒燬シタル者ハ死刑又ハ無期。懲役二處ス

七十九

第八十五條 第八十二條ニ記載シタル物又ハ陸軍戰鬪ノ用ニ供スル鐵道、電線若ハ水陸ノ通路ヲ損壊シ又ハ使用スルコト能ハサルニ至ラシメタル者ハ無期又ハ二年以上ノ懲役ニ處ス

三

第八十六條 兵器、弾薬、糧食、被服、馬匹其ノ他陸軍ノ軍用ニ供スル物ヲ毀棄又ハ傷害シタル者ハ十年以下ノ懲役又ハ禁錮ニ處ス

四

第八十七條 第八十二條乃至第八十五條ノ未遂罪ハ之ヲ罰ス

四

第八十八條 第八十五條ニ修正シ第八十九條以下第九十六條迄條數ヲ順次繰上ク

四

第九十七条 第九十三條乃至第九十五條ノ未遂罪ハ之ヲ罰ス

四

第九十八条 第九十五條ニ修正シ第九十九條以下第百六條迄條數ヲ順次繰上ク

第一百七條 服從ノ道ニ違フヘキ事ヲ目的トシテ黨ヲ結ヒタルトキハ首魁ハ六月以上五年以下ノ禁錮ニ處シ其ノ他ノ者ハ二年以下ノ禁錮ニ處ス

四

第一百八條 服從ノ道ニ違フヘキ事ヲ目的トシテ黨ヲ結ヒタルトキハ首魁ハ二年以下ノ禁錮ニ處ス

四

第一百九條 服從ノ道ニ違フヘキ事ヲ目的トシテ黨ヲ結ヒタルトキハ首魁ハ二年以下ノ禁錮ニ處ス

四

第一百一十条 服從ノ道ニ違フヘキ事ヲ目的トシテ黨ヲ結ヒタルトキハ首魁ハ二年以下ノ禁錮ニ處ス

四

第一百一十一条 服從ノ道ニ違フヘキ事ヲ目的トシテ黨ヲ結ヒタルトキハ首魁ハ二年以下ノ禁錮ニ處ス

四

第一百一十二条 服從ノ道ニ違フヘキ事ヲ目的トシテ黨ヲ結ヒタルトキハ首魁ハ二年以下ノ禁錮ニ處ス

四

第一百一十三条 服從ノ道ニ違フヘキ事ヲ目的トシテ黨ヲ結ヒタルトキハ首魁ハ二年以下ノ禁錮ニ處ス

四

第一百一十四条 服從ノ道ニ違フヘキ事ヲ目的トシテ黨ヲ結ヒタルトキハ首魁ハ二年以下ノ禁錮ニ處ス

四

第一百一十五条 服從ノ道ニ違フヘキ事ヲ目的トシテ黨ヲ結ヒタルトキハ首魁ハ二年以下ノ禁錮ニ處ス

四

第一百一十六条 服從ノ道ニ違フヘキ事ヲ目的トシテ黨ヲ結ヒタルトキハ首魁ハ二年以下ノ禁錮ニ處ス

四

第一百一十七条 服從ノ道ニ違フヘキ事ヲ目的トシテ黨ヲ結ヒタルトキハ首魁ハ二年以下ノ禁錮ニ處ス

四

第一百一十八条 服從ノ道ニ違フヘキ事ヲ目的トシテ黨ヲ結ヒタルトキハ首魁ハ二年以下ノ禁錮ニ處ス

四

第一百一十九条 服從ノ道ニ違フヘキ事ヲ目的トシテ黨ヲ結ヒタルトキハ首魁ハ二年以下ノ禁錮ニ處ス

四

第一百二十条 服從ノ道ニ違フヘキ事ヲ目的トシテ黨ヲ結ヒタルトキハ首魁ハ二年以下ノ禁錮ニ處ス

四

第一百二十二条 服從ノ道ニ違フヘキ事ヲ目的トシテ黨ヲ結ヒタルトキハ首魁ハ二年以下ノ禁錮ニ處ス

四

第一百二十三条 服從ノ道ニ違フヘキ事ヲ目的トシテ黨ヲ結ヒタルトキハ首魁ハ二年以下ノ禁錮ニ處ス

四

第一百二十四条 服從ノ道ニ違フヘキ事ヲ目的トシテ黨ヲ結ヒタルトキハ首魁ハ二年以下ノ禁錮ニ處ス

四

第一百二十五条 服從ノ道ニ違フヘキ事ヲ目的トシテ黨ヲ結ヒタルトキハ首魁ハ二年以下ノ禁錮ニ處ス

四

第一百二十六条 服從ノ道ニ違フヘキ事ヲ目的トシテ黨ヲ結ヒタルトキハ首魁ハ二年以下ノ禁錮ニ處ス

四

一 第六十五條乃至第六十八條ノ罪及此等ノ罪ノ未遂罪

二 第七十五條ノ罪

三 第八十一條乃至第八十八條ノ罪

四 第八十九條乃至第九十二條ノ罪

五 第九十四條乃至第九十六條ノ罪及第九十四條、第九十五條ノ未遂罪

六 第九十八條、第九十九條、第百條第二項、第百一條及第一百三條ノ罪

第七條 海軍ト共同作戦ニ從フ外國ノ陸海軍ニ屬スル者ニ對スル行爲ハ其ノ職務、官等、等級又ハ階級ニ相當スル海軍軍人ニ對スル行爲ト看做ス但シ其ノ外國ニ於テ同一ノ取扱ヲ爲スコトヲ保セサル場合ハ此ノ限ニ在ラス

第十三條 指揮官ト稱スルハ艦船、軍隊ヲ指揮スル海軍軍人。及陸海軍用船又ハ拿捕船舶ニ乘組ミ之ヲ監督スル海軍軍人ヲ謂フ

陸海軍用船又ハ拿捕船舶ニ乗組ミ之ヲ監督スル海軍軍人ハ指揮官ニ準ス

第十五條 戰時ト稱スルハ宣戰ノ公布アリタル時又ハ現ニ開戰シタル時ヨリ平和克復ノ時迄ヲ謂フ

第十六條 内亂、事變又ハ一地方ノ騒擾ニ際シ其ノ鎮定ニ從事スル艦船、軍隊ニハ戰時ノ規定ヲ適用ス

第十七條 海軍ニ於テ死刑ヲ執行スルトキハ海軍法衙ヲ管轄スル長官ノ定ムル場所ニ於テ銃殺ス

第十八條 前條ノ規定ハ刑法又ハ他ノ法令ニ依リ處斷シタル場合ニ亦之ヲ適用ス

〔第十九條ヲ第十七條ニ、第二十條ヲ第十八條ニ修正ス〕

第二十一條 本法ニ依リ死刑ニ處セラレタル者其ノ執行ノ免除アリタル日ヨリ五年内ニ更ニ本法、刑法又ハ他ノ法令ノ罪ヲ犯シ有期懲役ニ處スヘ

キトキハ前ノ罪ヲ懲役ニ該ル罪ト同質ノ罪ト認ムルトキニ限り之ヲ再犯

トス

〔第二十二條ヲ第十九條ニ、第二十三條ヲ第二十條ニ、第二十四條ヲ第二十一條ニ修正ス〕

第二十五條 左ニ記載シタル行爲ヲ爲シタル者ハ死刑ニ處ス

一 軍隊又ハ艦船、港灣、工場、兵器、彈藥其ノ他軍用ニ供スル場所。若ハ物ヲ敵國ニ交付シタルトキ

二 敵國ノ爲ニ間諜ヲ爲シ又ハ敵國ノ間諜ヲ幫助シタルトキ

三 軍事上ノ機密ヲ敵國ニ漏泄シタルトキ

四 敵國ノ爲ニ嚮導ヲ爲シ又ハ地理ヲ指示シタルトキ

五 敵國ニ降ラシムル爲指揮官ヲ強要シタルトキ

六 敵國ノ爲ニ俘虜ヲ奪取シ又ハ之ヲ逃走セシメタルトキ

第七條 敵國ヲ利スル爲左ニ記載シタル行爲ヲ爲シタル者ハ死刑ニ處ス

一 艦船、港灣、工場、兵器、彈藥其ノ他軍用ニ供スル場所。又ハ物ヲ損壊シ又ハ使用スルコト能ハサルニ至ラシメタルトキ

二 水陸ノ通路、橋梁、燈臺、浮標ヲ損壊又ハ壅塞シ又ハ其ノ他ノ方法ヲ以テ艦船、軍隊ノ往來ノ妨害ヲ生セシメタルトキ

三 指揮官其ノ艦船、軍隊ヲ率ヰテ守所若ハ配置ノ場所ニ就カヌ又ハ其ノ場所ヲ離ルルコト

四 艦隊、隊兵ヲ解散シ又ハ其ノ潰走混亂ヲ誘起シ又ハ艦船、隊兵ノ連絡集合ヲ妨害シタルトキ

五 兵器、彈藥、糧食、被服其ノ他軍用ニ供スル物ヲ缺乏セシメタルトキ

六 命令、通報若ハ報告ヲ詐リ傳ヘ又ハ虛偽ノ命令、通報若ハ報告ヲ爲シタルトキ

七 造言飛語シ又ハ敵前ニ於テ叫呼喧噪シタルトキ

〔第二十七條ヲ第二十四條ニ、第二十八條ヲ第二十五條ニ、第二十九條ヲ第二十六條ニ修正ス〕

第三十條 第二十三條乃至第二十八條ノ罪ノ豫備又ハ陰謀ヲ爲シタル者

ハ一年以上ノ有期ノ懲役又ハ禁錮ニ處ス

第三十一條 第二十三條又ハ第二十四條ノ罪ノ豫備又ハ陰謀ヲ爲シタル者
未タ事ヲ行ハサル前自首シタルトキハ其ノ刑ヲ免除ス

第三十二條^{〔二〕}〔第三十九條^{〔一〕}修正シ第三十三條以下第四十八條迄條數ヲ順次繰上ク〕

第四十九條^{〔六〕}〔艦船務ノ場所ヲ離レタルトキハ左ノ區別ニ從テ處斷ス〕

一 敵前ナルトキハ死刑又ハ無期ノ禁錮ニ處ス

二 戰時又ハ擋岸、坐礁其ノ他艦船危險ノ場合ナルトキハ三年以下ノ禁錮ニ處ス

三 其ノ他ノ場合ナルトキハ一年以下ノ禁錮ニ處ス

第五十條^{〔四十七〕}〔艦船區別ニ從テ處斷ス〕

當直將校睡眠又ハ酩酊シテ其ノ職務ヲ怠リタルトキハ左ノ

一 敵前ナルトキバ五年以下ノ禁錮ニ處ス

二 戰時又ハ航海中ナルトキハ二年以下ノ禁錮ニ處ス

〔第五十二條^{〔四十八條〕}三修正シ第五十二條以下第五十六條迄條數ヲ順次繰上ク〕

第五十七條 第三十八條乃至第^{〔五〕}四十條、第四十三條乃至第四十五條、第四

十九條、第五十二條及第五十四條乃至第五十六條ノ未遂罪ハ之ヲ罰ス

〔第五十八條^{〔四十九〕}〔第五十五條^{〔三〕}修正シ第五十九條以下第七十二條迄條數ヲ順次繰上ク〕

第七十三條 第六十一條乃至七十一條ノ未遂罪ハ之ヲ罰ス

〔第七十四條^{〔五〕}〔第七十一條^{〔三〕}修正シ第七十五條以下第七十九條迄條數ヲ順次繰上ク〕

第八十條 第七十六條第一號、第七十七條第一號及前條ノ未遂罪ハ之ヲ罰ス

第八章 軍用物損壞ノ罪

第八十一條 海軍ノ艦船、工場、戰鬪ノ用ニ供スル建造物、汽車、電車若ハ橋梁又ハ海軍ノ軍用ニ供スル物ヲ貯藏スル倉庫ヲ燒燬シタル者ハ死刑又ハ

無期^{〔七十八〕}〔若ハ十年以上ノ懲役ニ處ス〕

〔第八十二條^{〔一〕}〔第七十九條^{〔二〕}、第八十三條^{〔三〕}、第八十四條^{〔四〕}第八十一條^{〔五〕}修正ス〕

第八十五條 第八十一條ニ記載シタル物又ハ海軍戰鬪ノ用ニ供スル鐵道、

電線若ハ水陸ノ通路ヲ損壞シ又ハ使用スルコト能バサルニ至ラシメタル者ハ無期又ハ二年以上ノ懲役ニ處ス

第八十六條^{〔三〕} 兵器、彈藥、糧食、被服其ノ他海軍ノ軍用ニ供スル物ヲ毀棄又ハ傷害シタル者ハ十年以下ノ懲役及ハ禁錮ニ處ス

第八十七條 第八十一條乃至第八十五條ノ未遂罪ハ之ヲ罰ス

〔第八十八條^{〔四〕}〔第八十五條^{〔三〕}修正シ第八十九條以下第九十六條迄條數ヲ順次繰上ク〕

第九十七條 第九十三條乃至第九十五條ノ未遂罪ハ之ヲ罰ス

〔第九十八條^{〔五〕}〔第九十五條^{〔三〕}修正シ第九十九條以下第一百七條迄條數ヲ順次繰上ク〕

第一百八條^{〔五〕} 服從ノ^{〔義務〕}違フヘキ事ヲ目的トシテ黨ヲ結ヒタルトキハ首魁

ハ六月以上五年以下ノ禁錮ニ處シ其ノ他ノ者ハ二年以下ノ禁錮ニ處ス

○公爵二條基弘君 我々へ御委託ニナリマシタ所ノ陸軍刑法案及海軍刑法案ハ兩方ナガラ殆ド同一ノ文面ニナツテ居リマシテ、少シ陸海軍ノ組織上違ッタ

所カラ、文字字句等ノ變リガアル位ノコトデアリマスルニ依テ茲デ御報告モ東ネテ致スコトニ致シマス、本案ハ九回委員會ヲ開キマシテ、漸ク調査ヲ

終ツテ報告ヲスルコトニナリマシタ次第デアリマス、其委員會ニ於キマシテ

ノ經過並ニ結果ニ付キマシテ是ヨリ御報告イタシマスガ、委員會ニ於キマシテハ諸君ノ御手許ニ差出シマシタ通リノ修正ヲ致シマシテ、此兩案トモ修正

可決シタ譯デアリマス、其趣旨ト申シマスルモノハ抑^レ此現行ノ陸軍刑法並

ニ海軍刑法、共ニ今日マデハ普通刑法ニ對シテハ即チ獨立法ノコトニナ^テアルノデアリマス、併シ其内ノ幾分カハ即チ普通刑法ト同ジモノモ矢張リ用

オテアルヤウニナツテ居ルノデアリマス、然ルニ今回ハ此普通刑法ガ全部改

正ニナリマシタニ付イテハ勢ヒ此兩案共ニ今回改正ヲセネバナラヌト云フコ

トニナリマシタニ付イテ此改正案ガ出サレタ譯デアリマス、ソコデ今回ノ趣

意ニ於キマシテハ總テ普通刑法ガ本體改正ニナリマシタニ付イテ、其要點ハ

此兩案共ニ成ルベク普通刑法ニ依ルベキモノハ皆其方ニ依ルコトニ致シマシテ、全クソレヨリ以外ノ事柄、即チ軍事犯ト云フヤウナコトノミヲ此兩案ニ

總テ網羅シテ改正ニナツタ譯デアリマス、ソレデ此事柄ニ於キマシテモ少シ

委シク申上げヤウト思ヒマスケレドモ、既ニ速記録ガ皆サンノ御手許ニ廻^テ

居リマシテ、定メシ最早御熟讀ノ上、略、委員會ニ於テノ體裁ハ御承知ニナ
シテ居ルコトト信ジマスカラ本席ニ於キマシテハ省略イタシテ、唯其大要ヲ簡
單ニ取束ネテ申上ゲルコトニ致シマス、ソコデ總則ニ付キマシテノ事項ヲ說
明イタシマスレバ、是マデ獨立トナツテ居リマスル所ノ總則ヲ設ケテアリマ
シタガ、其制度ガ此度ハ廢サレタノデアリマス、ソレカラ本法ハ罪ニ付イテ
ノ規定ガアリマシタガ、今回ハ或ル範圍ニ於テハ少シ縮小スル場合モアリマ
スケレドモ、在郷軍人ヲ召集中ノ外、特定ノ場合ニ於テ現役軍人ト異ラヌコ
トニシマシタ、軍人ニ適用スル範圍ハ少シ廣クナツタノデアリマス、ソレカラ
ラ土地ニ關スル本法ノ效力ニ付イテノ明文ガ今度置カレタノデアリマス、是
ハ犯罪地ノ帝國內ニ在ルトヲ問ハズ何レニ於テモ此度ハ此法

文ヲ以テ適用スルト云フコトニナツテ居リマス、次ニ帝國軍ノ占領地及帝國
外ニアレ陸軍官衛其他軍隊所在地ノ土地ニ關スル普通刑法ノ範圍ヲ擴張シタ
ルコト、是ハ此度以前ヨリ餘ホド廣マッテ來タコトデアリマス、詰リ占領地ノ
人民ノ犯罪ニ對シテハ彼我ノ普通ノ習慣ヲ斟酌シテ軍令ヲ以テ之ヲ適用スル
適當ノ國法ヲ其儘此所ニ現ハシタノデアリマス、犯罪ノ客體ニ付イテ規定ヲ
改メタノデアリマス、是ハ謂ハユル外國ト共同作戰ノ場合ヲ言ウタノデアリ
マシテ、此場合ハ我ガ軍人ト外國軍人タルトヲ問ハズ共同作戰ノ場合ニ於テ
ハ官等階級職務等ハ總テ帝國陸海軍軍人ト看做スト云フ箇條ニナツテ居リマ
ス、ソレカラ剝官ノ刑ガアリマシタガ、是ハ此度サウ云フコトハ、天皇ノ大
權ニ屬スルコトデアリマスカラ、左様ナコトヲ本法ニ規定スルト云フコトハ
宜シクナイカラ、是ハ廢スルト云フコトニナツタノデアリマス、ソレカラ其
次ニハ數罪俱發例ニ關スル特別規定ト云フコトガ是マデアリマシタノガ、少
シ改メラレタノデアリマス、是ハ殺傷罪ノコトヲ示シタノデアリマシテ、其
殺傷シタルトキハ普通刑法第三編第一章ノ身體ニ對スル罪ノ法條ニ照シ重キ
ニ從ウテ處斷スル譯デアリマス、謂ハユル假想上ノ併合罪、即チ改正普通刑
法ノ第五十四條ニアル所ノ規定ニ付イテ除外例ヲ設ケマセヌ、然ルニ海軍軍
人ガ陸軍ノ軍務ニ服シタルトキハ矢張リ陸軍軍人ト同ジヤウニ看做シテ取扱
人アリマス、是ハ現行陸軍刑法ハ普通刑法ト陸軍刑法トノ罪ノ間ニ再犯ノ規定
ヲ適用シナイノデアリマス、本案ハ尙ホ此兩者ノ間ニモ改正普通刑法累犯ノ

規定ヲ適當ト認メ除外例ヲ設ケザルコトニシテアリマス、是ハ本案ニ於テ懲
役ヲ科スル罪ト改正普通刑法ニ於テ懲役ヲ科スル罪トハ其性質ニ於テアレモ
是モ殆ド同ジコトデ少シモ變ラヌノデアリマス、ソレカラ共犯ニ關スル規定
ガ改メラレタノデアリマス、是ハ現行法ニ於テハ軍人ト軍人ニ非ザル者ト共
犯ニ係ルトキハ軍人ハ陸海軍刑法ニ依リ處斷スト雖モ軍人ニ非ザル者ハ特定
ノ罪ヲ除クノ外普通刑法ニ照シテ處斷サレルノデアリマスガ、本案ハ之ヲ改
メ全ク改正普通刑法第六十五條ヲ適用スルコトニシタノデアリマス、ソレデ
先ツ大體第一編ノ總則ニ對シテノ重モナル箇條ハ申シタ譯デアリマス、ソレ
カラ第二編ハ即チ罪ノコトヲ總テ現ハシタノデアリマス、是ハ今日ノ現行法
ト餘リ變ラヌノデアリマス、今日マデノ現行法ノ方ニアリマスル所ノ不備不
完全ナル所ヲ今回ハ補ツテ即チ完全ナルモノニ改メタダケノコトデアリマシ
テ、大體ニ於テ其趣意ニ於テハ變ラヌノデアリマス、ソコデ此罪ノ方ノ條項
ハ叛亂トカ擅權トカ辱職、抗命、暴行脅迫、侮辱、逃亡ト云フヤウナコトデ
アリマスルガ、是ハ皆唯今申シタ通り現行ノ法ニモアルモノヲ詰リ其不備ヲ
改メテ改正シタノデアリマスガ、ソレカラアトニアリマス軍用物損壞ノ罪ト
カ又掠奪ノ罪トカ俘虜ニ關スル罪トカ云フヤウナモノハ、是ハ是マデハ現行
法ニ無イノガ此度此所ニ這入ッタノデアリマス、又違令ノ罪ト云フモノハ現
行法ニモアルノデアルサウデアリマスガ、ソレヲ此度體裁ヲ良ク直シテ此所
ニ連ネタノデアリマス、新設ト云フノデハナイノデアリマス、其他是マデ結
黨トカ詐偽トカ云フモノモ現行法ニアルサウデスケレドモ、結黨ニ關スル規
定ハ此度廢セラレテ違令ノ中ニ其事ハ籠メラレテ這入ッタノデアリマス、ソ
レカラ現行法ニハ詐偽ノ罪ガアツタノヲ此度ハ其方ハ廢サレマシテ、此法案ノ
ソレゾレ相當スペキ場所ノ方ヘソレヲ分ツテ書込ンデ出來テ居ルノデアリマ
ス、デ大體ノ改正ノ趣意ト云フモノハ右様ナモノデアリマシテ、陸軍ニ於キ
ノニ依ツテ此度ハ出來タノデアリマス、是ヨリチヨット御手許ニ廻シマシタ
シテハ先キニモ申シマシタ通り現行法トハ性質モ幾分カ擴マッタ所モアリ
マスシ、又不備ナ所ガ直ツタト云フコトデ、其他ハ始ド皆普通刑法ト云フモ
ノニ依ツテ此度ハ出來タノデアリマス、是ヨリチヨット御手許ニ廻シマシタ
修正ノコトニ付イテハ陸軍刑法案ノ修正ノコトニ付キマシテ簡單ニ説明ヲ致
マスシ、又不備ナ所ガ直ツタト云フコトデ、其他ハ始ド皆普通刑法ト云フモ
サウト思ヒマス、此第二條ノ數字ノ變リマシタノハ即チ此修正ニ依リマシテ
削除ニナツタ所ガ大分アリマスカラ、其結果デ此二條ノ數字ハ改正サレタ譯
デアリマス、ソレカラ第七條ノ「但シ」カラアトガ修正ニナツタノデゴザイマ

スガ、是ハ此本文ノコトカラ見マスルト、共同作戦ノトキニ起ツタ場合ガ示シテアリマスルガ、例ヘバ共同作戦ヲナストキニ我が哨兵ノ者ト外國ノ哨兵トガ勤務シテアル間ニ何カノコトカラ衝突デモ起ツタキニハ、我が哨兵ハ其階級ニ相當スル陸軍軍人ニ對スル行爲ト看做シテ此法律ニ依ツテ罰スルケレドモ、外國ハ外國ノ法律デアルカラ、或ハ罰セラレヌカモ知レヌ、サウシテ見ルト謂ハユル片手落ノコトニナツテ甚ダ不公平ナコトニナリマスカラ、相互處罰ト云フ趣意ヲ以テ但書ニデモ入レテ置イタラ宜カラウト云フ說ガ出マシテ、即チ此但書ノ通リニ修正サレタノデアリマス、ソレカラ此十條ノ「陸軍將校相當官、陸軍准士官、海軍將校、同相當官」ノ次ヘ「海軍候補生」ト云フモノヲ入レマシテ、サウシテアトノ「及海軍候補生」ノ六字ガ削ラレタノデアリマス、此陸軍士官ノ候補者ト海軍ノ候補生トハ少シ取扱カラ其意味モ違フ所ガアルノデアリマシテ、詰リ陸軍ノ方デハ候補者ト云フモノハ軍人ト云フ方ノ部類ニハナツテ居リマスケレドモガ、併シ階級等ニ付イテハ看做サレテハ居ラヌヤウデアル、海軍ノ方デハ「海軍軍人ト稱スルハ」云々ト云フ中ニ矢張リ海軍候補生モ連々テ官等ノ中ニ入ツテ居ルノデアリマス、サウ云フ譯デアリマスカラ、此所モ矢張リ官等ノ中ニ加ヘテ、少シ陸軍士官ノ候補者トハ種類ガ違フ、陸軍士官ノ候補者ハ官等ト云フモノハ別段ニ無イガ、海軍候補生ノ方ハ官等ト云フモノニ付イテ、チャント明文デ現ハサレテアルカラ、此所モソレト同ジャウナ意味ヲ以テ入レタ方ガ宜カラウト云フコトデ入レルコトニナツタノデアリマス、ソレカラ第二十條ガ削除ニナリマシタノハ、是ハ戰時ト稱スルハ宣戰ノ公布アリタル時カラシテ平和克復ノ時、又ハ開戰シタル時ヨリ平和克復ノ時マデヲ謂フ、誠ニ斯ウ竝ベテアルトキニハ甚ダ解釋ニ苦シムノデアル、一例ヲ言ヘバ、若シモ戰爭ヲスルトキニ、マダ宣戰ヲ公布セヌ以上ニハ、マダ是ハ戰時トハ言ヘヌカモ知レス、或ハ宣戰公布前デモ戰ヲ始メテ居ルトキニハ戰時ト認ムルト云フコトモ出來ヤウ、若シモ宣戰ノ公布ガマダ出ナイ中ニ既ニ戰ラヤッタ、其中ニ敵ノ船デモ捕ヘルト云フコトニナツタラ、斯ウ云フ風ニ兩方ニ書分ケテアレバ、ソレヲ審問スル所ノモノガ、即チ判斷ガド、チニモツテ行ツテ宜イカ分ラヌ、即チ敵ト戰ラシタ其時カラ戰時ト云フカ、或ハ其時ニハマダ宣戰ノ公布ガ無イカラシテ、公布ノ出タ時カラヤルカト云フ、其場合ニ此捕獲シタ船ト云フモノモドウシテ宜イカ、即チ戰時デアルカラシテソレハ捕獲スル、或ハ宣戰ノ公布ガ無イ以上ハイカヌト云ヘ

バ即チ捕獲スル譯ニイカヌト云フコトニナツテ、誠ニ是等ニ付キマシテモ一例デハアリマスケレドモ、其場合ニ判断ニ苦シムト云フコトガアリマスルカラシテ、此事ハ既ニ普通刑法ニハ意味ハ別段ニ書イテハナケレドモ、解釋ニ依ツテ戰時ト云フコトハ明ニ分ルコトデモアルシ、國際法ノ判斷ニ依ツテ此事ヲ決メルト云フコトモ出來ルカラ、寧ロスウ云フ所デ書キ現ハシテ、斯ウ云フ文字ヲ書イテ置クヨリ之ヲ削除シテ他ニモ取ル途ガアルカラ、其方ヘ任フモノヲ入レマシテ、サウシテアトノ「及海軍候補生」ノ六字ガ削ラレタノデシタガ宜カラウト云フコトモ削除ニナリマシタガ、是ハ眞ノ文字ノコト一條ノ第三號ノ「内亂」ト云フノヲ削除ニナリマシタガ、是ハ眞ノ文字ノコトデアリマスガ、内亂ト事變トハドレホド區別ガアルト云フコトニナリマスレバ、結局ハ事變トハ大キイ意味ヲ有ツテ居ルカラ、此中ニ内亂モ含ンデ居ルシヤウナ譯デアルカラ、別段ニ書分ケル必要モアルマ、又他ノ法律ニモト言ヘバ、ソレモサウ見ラレル、内亂ヲツメテ來レバ即チ事變ト云ウテモ宜シヤウナ譯デアルカラ、此所ニ置ク必要ハ無イト云フノデ削除ニナツタノデアリマスカラ、ソレデ此舊ノ二十三條、是レノ削除ニナリマシタノハ「内亂、事變」ト書イタモノハ無イ「戰時又一事變」ト云フコトノ方ハ憲法ナリ其他ノモノニモアリマスカラ、ソレデ「事變」ト云フ中ニ「内亂」ガ籠ツテ居ルト云フコトハ解釋ガ出來マスカラ此所ニ置ク必要ハ無イト云フノデ削除ニナツタノデアリマス、ソレデ此舊ノ二十三條、是レノ削除ニナリマシタノハ前ノ二十二條ト云フモノニ於テハ、即チ刑ノ執行ト云々テ非常ニ廣イ意味ヲ以テ此事ハ書現ハサレテアルノデアリマス、シテ見レバモウ此法文ニシテ廣ク解釋ノ出來ルコトナレバ別段ニ此二十三條ノコトヲ入レズトモ十分廣イ意味デ前ノデ解釋ガ出來マスカラシテ、此所ニ置ク必要ハ無イ、竝ベテ置クノハ法文トシテモ體裁ガ宜クナイカラ削除シタガ宜カラウト云フノデアリマス、ソレカラ二十六條ノ削除ニナリマシタル意味ハ刑法ノ五十六條ノ規定ト云フモノガアルカラシテ、ソレヲ以テ十分ニ此事ハ説明スルニ足リルコトデアルカラシテ、然ルニ其上ニ何カ新ニ附加ヘテ置クコトガアレバ此事モ必要デアルケレドモ何モナイト云フヤウナ譯デハ此法案ハ此所ニ置イテ置ク必要モ無クシテ唯是ダケガ舉ゲアル以上ハ實ニ必要ノ無イ話デアルノミナラズ何ハ無カラウ、若シモ此所ニ禁錮ニ該ル罪トカ或ハ懲役ニ該ル罪トカアツテ、其後ニ此條ガアレバ即チ此條ヲ置クノモ必要デアルガ、サウ云フコトモ何モ無クシテ唯是ダケガ舉ゲアル以上ハ實ニ必要ノ無イ話デアルノミナラズ何カ普通刑法ト違ツタ所ガアルヤウナ感ジガアツテ甚ダ面白クナイ、ソレヨリハ斯ノ如キ有ツテ實益ノ無イ規定ナラバ寧ロ削除シタガ宜イト云フノデ削除ニナツタノデアリマス、ソレカラ舊ノ三十三條ニ修正ニナツテ居リマスガ修正

案ハ即チ二十七條デアリマス、此所ハ刑法ノ八十二條ニモ斯ウ云フ文言ガアル、即チ「建造物」ト云フモノガ入ッテ居ル、此所デ建造物ハ何カト申セバ場所或ハ物ト云フモノデ含メラレテアルト云フ解釋デアリマスカラ、ソレデハ誠ニ建造物ガ場所、或ハ物ニ適當シタ意味カト云フコトハ分ラヌカラ、ソレヨリハ寧ロ刑法ト同ジヤウナ工合ニ建造物ト云フニトヲ此所ヘ書入レタ方ガ明ニナルコトデアルカラ、其方が宜カラウト云フ所カラ「建造物其ノ他」ト云フ文字ガ此所ヘ入ッタ譯デアリマス、ソレカラ此三十條カラシテ總テ此下ノシタルトキ「セシメタルトキ」ト云フヤウナコトヲ「何々スルコト」或ハ「何セシムルコト」ト云フヤウナ工合ニ改メマシタノハ、即チ此三十條ノ本文即チ一項ノ書出シガ現在デ書出シテアリマス、ソレ故ニ此方モ總テ現在ニ書イタ方ガ法文ノ體裁上宜シイト云フノデ直ッタノデアリマス、三十一條ノ所ニ「建造物其ノ他」ト云フノヲ入レマシタノハ前ノ三十條デ申シタ意味ガ入りマシタ、又其他ノ下ノ方イ「スルコト」「離ルルコト」ト云フヤウニ現在ニ直シタノモ前ニ申上ゲタ趣意デ書キ改メタノデアリマス、畢竟唯文法ノ一部ヲ改メタト云フニ過ギナインデアリマス、是ハ別段ニヒドウ違ッタ意味トナツテ居リマスノハ此所ニ「死刑又ハ無期」ト云フ所ノ下ヘ「若ハ十年以上ノ」ト云フコトガ今度入ッタノデアリマス、是ハ別段ニヒドウ違ッタ意味ト云フノモアリマセヌノデ、唯斯ウ云フ場合ニ於キマシテ刑罰ガ死刑トカ無期トカ云フダケデハ餘リ重過ギハセヌカ、今日ノ情狀ニ依ッテハモウ少シ緩メテヤラネバナラヌコトモアリハセヌカ、刑罰ガ是ダケデハ少シ嚴酷ニ過ギルカラシテ、此所ニモウ一ツ十年以上ト云フノヲ入レテ罪ノ輕キ者ハ之ニ相當スル判決ヲスルト云フノガ大變至當ナコトデアラウト云フノデ、一ツ緩メテ十年以上ト云フノヲ入レタノデアリマス、唯刑罰ガ強イカラ少シ緩メタト云フ理由ニ過ギヌノデアリマス、ソレカラオ終ヒノ百七條ニ「道」ト云フ字ヲ義務ト云フ字ニ改メタシデアリマスガ、道ト云ツテモ宜シイガ餘リ何カスウ云フ法文ニ於テハヲカシイ考モアリマスカラ、寧ロ「義務」ト云フ方ニ變ヘタガ宜カラウト云フノデ「義務」ニ變ッタノデアリマス、其他、條數ノ總テ數字ガ變ッタノハ削除ガアリマシタ爲ニ變ッテ來マシタ、ソレデ此第二編ノ刑ノ中ニモ各條ニ何ノ罪ハ云々ト云フノモ總テ數字ガ今度ハ變ッタノデアリマス、大體陸軍ノ方ニ付キマシテノ委員會ノ經過及結果ハ今申シマシタヤウナ譯デアリマス、海軍ノ方ハ略、陸軍ト同様ノ譯デアリマシテ、唯少シ陸海軍ノ性質

上ヨリシテ文字ガ變ッタリ其名稱ガ變ッタト云フコトニ過ギナインデアリマスルカラシテ、海軍ニ於テハサウ大體ノ説明、並ニ總則ト云ヒ第二編ノ大體ニ付イテノコトバ、モウ前ニ陸軍ノ方デ申上ゲタノト略、同様ノコトト御承知ヲ願ヒタイト思ヒマス、唯茲デ違フ所ダケヲ拾ッテ説明イタシマスガ、海軍ノ第七條ハ即チ陸軍ノ第七條ノ方デ直ッタ、アレト同様ノ文意ニ直ッタノデアリマスカラ、別段説明ヲ致シマセヌ、ソレカラ第十三條ノ方デ、ドウモ是ダケデハ少シ海軍ノ用船ヤ拿捕船ニ乘組ンデ居ル士官ナドニ對シテ罰ヲ受ケルト云フコトモ、軍艦ニ乗込ンデ艦隊ヲ指揮スル者ト同シヤウナ取扱ヲ受ケルノモ、少シク公平ナルコトデハナイト云フヤウナ考モアルカラシテ、矢張リ茲デハ其所ヲ少シ色分ケラ置イタ方ガ宜カラウト云フヤウナ趣意デ、此「指揮官ト稱スルハ艦船、軍隊ヲ指揮スル海軍軍人ヲ謂フ」ト云フ所ヲ一項ニシテ、下ノ「陸海軍用船又ハ拿捕船ニ乘組ミ之ヲ監督スル海軍軍人ハ指揮官ニ準ス」ト云フヤウナ工合ニ、之ヲ二項ニ舉ゲテ置イタラ、其事柄ガ明瞭ニナツテ宜カラウト云フノデ、是ハ修正ニナツタノデアリマス、ソレデ矢張リ此海軍ノ十五條、十八條、二十一條モ削除ニナツタノハ、陸軍ノ方デ申上ゲタト同趣意デ、又文モ同ジデアリマスカラ、茲デハ申シマセヌ、ソレカラ第二編ノ此二十五條ノ中デ「軍隊又ハ艦船」ノ下ノ「港灣、工場」ト云フノデ、是ハ削除ト云フノデアリマスガ、是ハ港灣ニシロ、工場ニシロ必ズ軍港トカ、又ハ海軍專用ノ工場ト云フダケヲ意味シタ譯デハアリマセヌノデアリマス、サウシテ見レバ茲ニ斯ウ列ベテ見ルト、海軍ノ使用シテ居ルモノハ、ソレハ軍港ノミデハナイ、即チ海軍ノ軍用ニ供スル工場港灣ニ普通ノモノモ出入スルコトモ出來ル、若シモ又ソコヘ行ッタ爲ニ刑ヲ受ケルト云フコトガ、生ジテハ甚グ宜シクナイカラシテ、斯ウ云フモノハ、此場合ハココノ所ハ除イテ置イタガ宜カラウト云フノデ、是ハ削除ニナツタノデアリマス、ソレカラ「建造物其ノ他」ヲ入レタノハ前ニ陸軍刑法ノ時ニ説明イタシマシタト同様デ、即チ此「シタルトキ」ト云フノヲ總テ片假名ノ現在ニ直シタト云フコトハ、是非皆同趣意デアリマス、即チ二十六條モ前文ノ通り矢張リ此「港灣、工場」ヲ除イタノハ即チ今申シタ主意デ、ソレデ「建造物其ノ他」ヲ入レマシタ、サウシテ總テ其下ノ「シメタルトキ」ヲ「シムルコト」ト云フヤウニ總テ現在ニ直シマシタノハ、最前申シマシタ趣意デアリマスカラ、茲デハ述ベマセヌ、ソレカラ此四十九條ノ「當直將校」ノ上ニ「艦船」ノ文字ヲ二字入レタノデアリマ

○議長(公爵德川家達君) 直ニ第二讀會ヲ開キマス、全部ヲ問題ニ供シマス、
…全部特別委員長ノ報告ヲ可トスル諸君ノ起立ヲ請ヒマス

起立者 多數

○議長(公爵德川家達君) 過半數ト認メマス、是デ第二讀會ハ終リマシタ

○公爵二條基弘君 第三讀會ヲ引續キ開カレムコトヲ希望シマス

○伯爵廣澤金次郎君 贊成

「其他」贊成「ト呼フ者アリ」

○議長(公爵德川家達君) 直ニ第三讀會ヲ開キマス、第二讀會ノ決議通リテ

○議長(公爵德川家達君) 御異議ナイト認メマス、御異存ゴザイマセヌカ

「異議ナシ」ト呼フ者アリ

○議長(公爵德川家達君) 御異議ナイト認メマス

○議長(公爵德川家達君) 直ニ第三讀會ヲ開キマス、第二讀會ノ決議通リテ

○議長(公爵德川家達君) 御異議ナイト認メマス、是デ本案ハ確定イタシマ

シタ

○議長(公爵德川家達君) 御異議ナイト認メマス、是デ第二讀會ノ決議通リテ

○議長(公爵德川家達君) 御異議ナイト認メマス、是デ本案ハ確定イタシマ

シタ

右可決スヘキモノナリト議決セリ依テ及報告候也

明治四十一年三月十日

右特別委員長

子爵舟橋遂賢

貴族院議長公爵德川家達殿

裁判所管轄區域變更ニ關スル法律案(表第六號)
右可決スヘキモノナリト議決セリ依テ及報告候也
明治四十一年三月十日

右特別委員長
子爵舟橋遂賢

貴族院議長公爵德川家達殿

○子爵堀河護麿君 唯今、議長カラ御宣告ノアリマシタ通リ日程ノ第八第九ノ法案、即チ裁判所管轄區域變更ニ關スル法律案ノ委員會ノ結果ヲ束ネマシテ御報告ヲ致シマス、本日ハ委員長ヨリ御報告ニナリマス筈デゴザイマシタガ、御缺席ニナリマシタカラシテ私カラ御報告ヲ申シマス、第八ノ法案ハ即チ長野地方裁判所上田區裁判所ノ管轄ニ屬シマスル所ノ信濃國更級郡更級村、八幡村、桑原村及稻荷山町ヲ同地方裁判所管内長野區裁判所ノ管轄ニ變更イタシタイト云フ法案デアリマス、モト此一町三村ハ舊上田藩領デゴザイマシテ、裁判所構成法實施ノ當時ニ於キマシテハ成ルベク舊藩地ヲ纏メルト云フ趣意カラ致シマシテ上田區裁判所ノ管轄ニ屬シマシタ次第デアリマス、然ルニ今日ニナリマシテ篠井線ガ開通イタシマシテカラ以來、此地方カラシテ上田ノ方へ出マスルヨリハ長野ニ参リマス方ガ距離ガ近ク、且ツ時間モ要シマセヌデ誠ニ便利デゴザイマス、取引ノ關係ノ如キハ長野トハ密接ノ關係ガゴザイマスルニ反シマシテ、上田ニハ殆ド無イト申シテモ宜シイ位ナサウデゴザイマス、其上此土地ハ彼ノ筑摩川ノ大流ヲ以テ郡ノ境ヲ致シテ居リマスカラシテ洪水ノゴザイマストキナドニハ之ガ爲ニ時ニ交通ヲ妨ゲラレマシテ往々上田ニ出マスルノニ不便ヲ感ジマスルヤウナコトガゴザイマスル趣デゴザイマス、從ツテ地勢上ナリ經濟上ナリ此法案ノ如クナリマスレバ大キニ此地方ノ便利ニナリマスル次第デゴザイマス、此變更ニ關シマシテハ御承知ノ通り該地方カラシテ昨年モ當院ニ請願ガ出テ居リマス、本院ニ於テ探擇ニナッテ居リマスルコトデゴザイマス、政府ニ於カレマシテモ、是ハ相當ノ變更ト認メラレマシテ同意ノ趣デゴザイマス、次ニ日程第九ノ法案、即チ名古屋地方裁判所管内西尾區裁判所ノ管轄ニ移シマシテ、又岡崎區裁判所ノ管轄内ニゴザイマスル碧海郡櫻井村大字川島、村高ヲ同地方裁判所管内西尾區裁判所ノ管

轄ニ變更イタシタイト云フ法案デゴザイマス、是ハ愛知縣下ニ於キマシテ町村ノ廢合ヲ行ヒマシタ結果、一町村ニ於キマシテ二ツノ區裁判所ノ管轄ニ跨ル所ガ生ジマシテ、登記其他ニ付キマシテモ不都合ガゴザイマスルシ、殊ニ

カ

戸籍ノ事務ノ如キニ至リマシテハ一ツノ町村内デアリナガラ二ツノ區裁判所ニ關係ヲ持チマスルヤウナコトデ、甚ダ其取扱ニ於キマシテ不便ヲ感ジマス

ルヤウナ趣デゴザイマス、從ッテ斯ノ如キ變更ヲ必要トスル次第デゴザイマス、政府ニ於キマシテハ此法案モ矢張リ相當ナコト、已ムヲ得ザルコトシテ同意セラレテ居リマスル次第デアリマス、右様ナ譯柄ニ依リマシテ委員會ニ於キマシテハ兩案共ニ是ハ相當ナル變更ト認メマシテ異議モ無ク全會一致

ヲ以テ可決イタシマシタ次第デアリマス、此段御報告ヲ致シマス、尙ホ兩案共ニ簡單且ツ明瞭ノ案ト存ジマスレバ、各案ノ採決ニ際シマシテハ讀會省略ヲ以テ可決アラムコトヲ希望イタシマス

○議長(公爵德川家達君) 議事日程第八、並ニ第九ノ兩法案ヲ一括シテ議題トナスコトニ御異存ゴザイマセヌカ

〔「異議ナシ」ト呼フ者アリ〕

- 議長(公爵德川家達君) 御異議ナイト認メマス
○子爵鍋島直彬君 賛成
○伯爵正親町實正君 堀河子爵ノ動議ニ賛成
○伯爵大原重朝君 賛成
○子爵大田原一清君 賛成
○子爵山口弘達君 賛成
○伯爵柳原義光君 賛成
○子爵伊集院兼知君 賛成

〔「其他」賛成」ト呼フ者アリ〕

- 議長(公爵德川家達君) 堀河子爵ノ讀會省略ノ動議ニハ定規ノ賛成者ガアツタト認メマス、讀會省略ヲ可トスル諸君ノ起立ヲ請ヒマス

起立者 多數

- 議長(公爵德川家達君) 三分ノ二以上ト認メマス

- 議長(公爵德川家達君) 兩案トモ副委員長ノ報告通リテ御異存アリマセヌ

カ

〔「異議ナシ」ト呼フ者アリ〕

○議長(公爵德川家達君) 御異議ナイト認メマス、是デ本日ノ議事ハ終リマシタ、特別委員ノ氏名ヲ御報告ニ及ビマス、書記官長ヲシテ朗讀ヲ致サセマス

ス

〔太田書記官長朗讀〕

水利組合法案特別委員

伯爵萬里小路通房君 小牧昌業君 男爵關義臣君

男爵金子有卿君 男爵南光利君 阿部浩君

石黒五十二君 山田春三君 濱口吉右衛門君

關稅定率法輸入稅表中改正法律案特別委員

子爵鍋島直彬君 子爵三島彌太郎君 子爵水野直君

男爵松平正直君 男爵前島密君 前田正名君

男爵田健治郎君 男爵紀俊秀君 桑田熊藏君

○議長(公爵德川家達君) 次ノ議事日程ハ決定次第御通知ニ及ビマス、本日ハ是デ散會ヲ致シマス

午前十一時二十二分散會